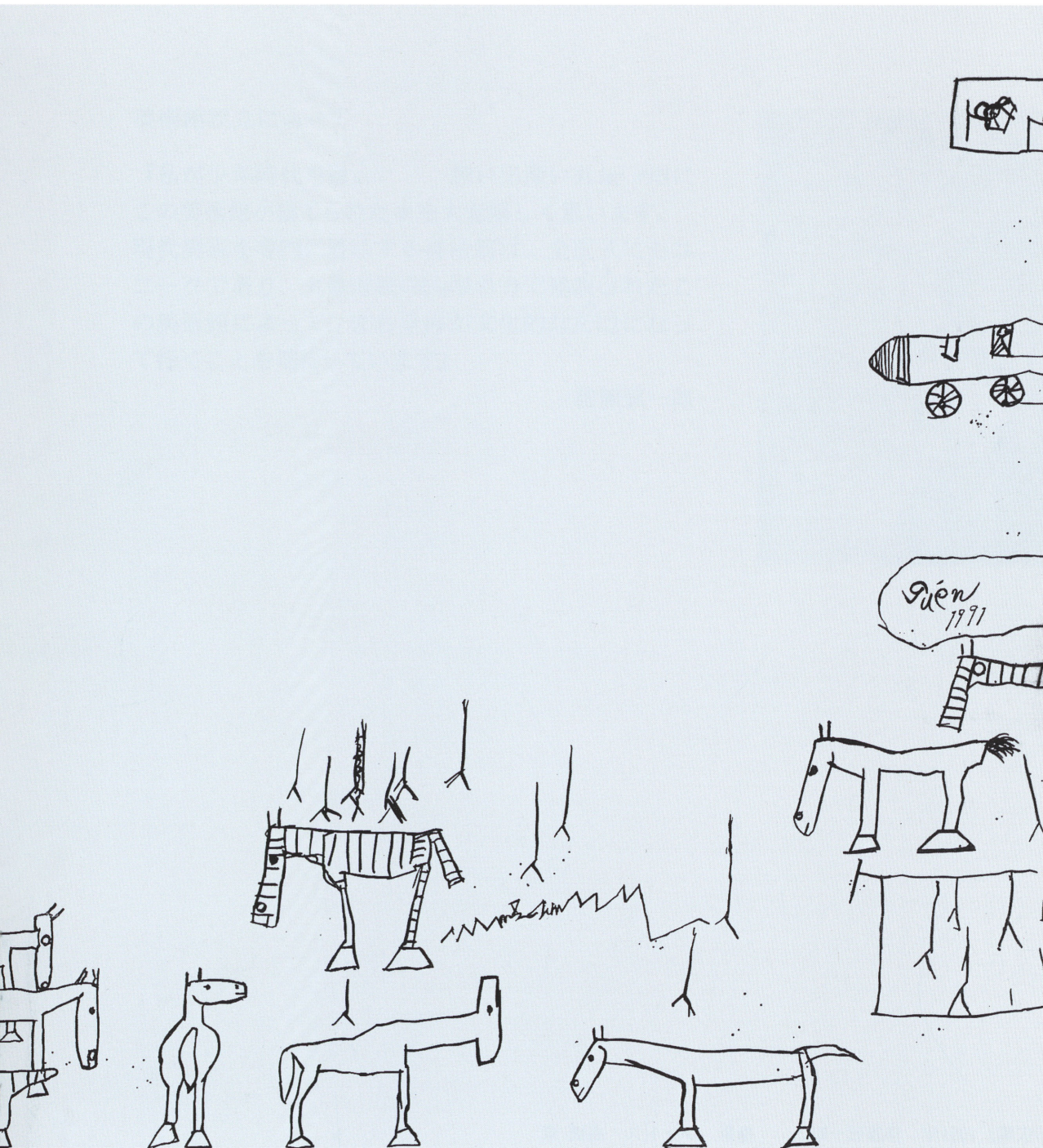
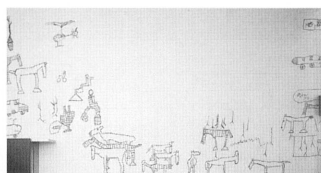


丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 年報2017-2018



表紙 壁画『創造の広場』1991年 猪熊弦一郎 撮影 フォトス 高橋 章



縦 1150cm

横 2157cm

材質 大理石（ギリシア産）

御影石（岐阜県・美濃産）

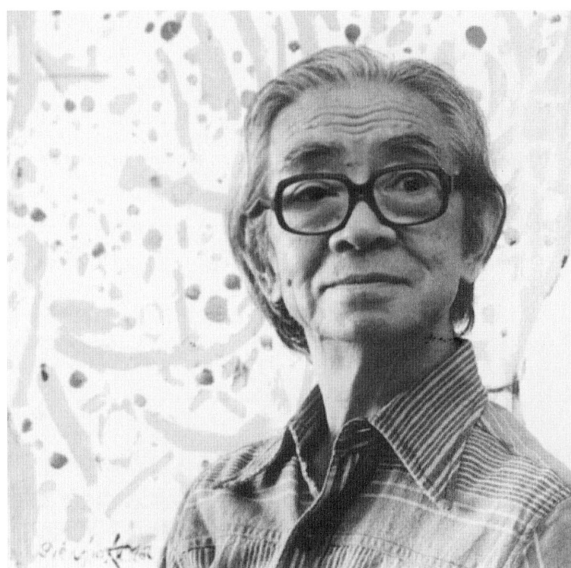
『壁画の主題になっている馬は、人間をはじめとする生き物の代表として描いたものです。壁画のあるゲートプラザには、壁画のほかに彫刻類もあり、この広場に立ったとき、空間の広さと美しさを感じ、それぞれの人に新たな創造の意欲がわき出るような広場にしたいかったです』

猪熊弦一郎

美術館設立に寄せて

『私が少年時代を過ごした、思い出深い丸亀の地にこの美術館が建てられた事を大変嬉しく思います。現代美術を専門に展示する美術館は、全国的にもユニークであり、丸亀市民の皆様の方で建設されたこの美術館によって、まち全体が文化的な環境になって行くことを期待しています』

猪熊弦一郎



©Francis Haar

凡例

各展覧会の出品作品リストは、「刊行物一覧」(35頁～)にある刊行物または当館ホームページに掲載した。

猪熊弦一郎の作品所蔵者は、特に記していない場合は当館である。

【HP】 www.mimoca.org

目次

I	沿革	1
II	展覧会事業	
i	展覧会一覧 (2017-2018)	3
ii	企画展	
	2017年度	
	137 志賀理江子 ブランドデート	4
	138 猪熊弦一郎展 戦時下の画業	6
	139 荒木経惟 私、写真。	8
	2018年度	
	140 荒井茂雄展 人生の詩	9
	141 猪熊弦一郎展 風景、顔	10
iii	常設展	
	2017年度	
	猪熊弦一郎展 ふしぎな形	11
	猪熊弦一郎展 ニューヨークへ 1955-	11
	猪熊弦一郎展 人物像	11
	2018年度	
	猪熊弦一郎のおもちゃ箱	12
	美術館は心の病院 猪熊弦一郎とMIMOCA	12
III	教育普及事業	
i	ワークショップ	13
ii	スクールプログラム	
	1 学校等団体での来館	19
	2 鑑賞教材貸出	21
	3 博物館実習	22
	4 職場体験	22
	5 ミモカキッズパスポート	23
iii	地域連携事業	
	1 丸亀どこでもMIMOCA	25
	2 丸亀ここがMIMOCA	26
	3 いのくまさんの日	27
	4 ミモカシニアパスポート	28
iv	イベント	29
v	刊行物一覧	35
vi	美術図書室利用状況	37
vii	MIMOCA FRIEND (ミモカフレンド)	38
IV	美術作品整理・管理	39
V	その他事業	
i	ミュージアムショップ	50
ii	カフェ	55
VI	入館者状況	56
VII	組織図	58
VIII	施設概要	60
IX	利用案内	61

I

沿革

- 1987年(昭和62年)10月 丸亀市が市制90周年事業として猪熊弦一郎美術館の建設を発表
- 1988年(昭和63年)1月 美術館建設懇談会設置
- 7月 美術館建設懇談会、市長に意見書提出
- 8月 美術館建設基本構想策定
- 9月 美術館基本設計委託
丸亀駅前地下駐車場建設工事着工
- 11月 美術館準備室設置
- 1989年(平成元年)2月 美術館基本設計完了
- 3月 美術館実施設計委託
- 5月 美術館基本設計変更案決定
- 9月 美術館実施設計完了
- 11月 美術館建設工事着工
- 12月 美術館建設工事起工式
猪熊弦一郎から丸亀市へ《夜》《猫に寄せる歌》《Two Shores A》等、
第1回分として作品1000点を寄贈
- 1990年(平成2年)3月 丸亀駅前地下駐車場建設工事竣工
- 1991年(平成3年)3月 JR丸亀駅南口広場の整備工事完成
定礎式と壁画「創造の広場」除幕式
猪熊弦一郎に名誉市民証授与される(丸亀市第1号)
- 6月 美術館建設工事竣工
- 9月 丸亀市美術館条例制定
- 10月 美術館の愛称が「MIMOCA」に決定
- 11月 落成式
一般公開(23日)
- 1992年(平成4年)3月 入館者5万人達成(28日)
- 5月 猪熊弦一郎から丸亀市長とのかねてからの約束に基づき
所有する作品等を市に寄贈する主旨の文書提出
- 10月 入館者10万人達成(9日)
- 12月 第26回サイン・デザイン賞受賞
- 1993年(平成5年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団設立
- 5月 猪熊弦一郎、東京にて死去(17日、満90歳)
- 9月 第34回建築業協会賞受賞
- 1994年(平成6年)5月 第7回村野藤吾賞受賞
- 8月 入館者30万人達成(4日)
- 1995年(平成7年)4月 MIMOCA FRIEND(ミモカフレンド)発足

- 1996年(平成8年)4月 第5回公共建築賞(主催:社団法人・公共建築協会)、特別賞受賞(3日)
- 5月 休館日改定(月曜日休館を廃止し、元旦より開館へ)
料金体系改定(大学生料金を一般料金と分離し、高校生以下無料に)
開館時間変更(午前10時から午後6時まで)
入館者50万人達成(15日)
- 9月 ホームページ開設(5日)
- 1997年(平成9年)7月 美術館南北の市道の愛称を「美術館通り」「いのくま通り」と設定
- 1998年(平成10年)11月 建設省設立50周年記念「公共建築百選」に選出
- 2000年(平成12年)9月 入館者100万人達成(26日)
- 2001年(平成13年)11月 香川県教育文化功労者受賞(1日)
開館10周年を迎える(23日)
- 2003年(平成15年)11月 生誕100周年記念猪熊弦一郎回顧展開催(23日)
- 2006年(平成18年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる(契約期間2年)
- 2008年(平成20年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる(契約期間1年)
- 2009年(平成21年)4月 財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる(契約期間4年)
- 2011年(平成23年)2月 公益財団法人ミモカ美術振興財団が発足(1日)
- 9月 入館者200万人達成(10日)
- 11月 開館20周年を迎える(23日)
- 2013年(平成25年)4月 公益財団法人ミモカ美術振興財団が当館の指定管理者となる(契約期間5年)
- 2015年(平成27年)1月 一般社団法人地域創造「平成26年度地域創造大賞(総務大臣賞)」受賞(16日)
- 2018年(平成30年)4月 公益財団法人ミモカ美術振興財団が丸亀市との業務委託契約により
当館の運営にあたる
- 2019年(平成31年/令和元年)1月 施設の長寿命化工事に伴い2020年(令和2年)3月末まで長期休館

II

展覧会事業

i 展覧会一覧 (2017-2018)

企画展

No.	展覧会名	会期
136	開館25周年記念 MIMOCAコレクション じつはいろいろあるんです! (年報2015-2016参照)	2017年2月25日～5月28日
2017年度 137	志賀理江子 ブラインドデート	2017年6月10日～9月3日
138	猪熊弦一郎展 戦時下の画業	2017年9月16日～11月30日
139	荒木経惟 私、写真。	2017年12月17日～2018年3月25日
2018年度 140	荒井茂雄展 人生の詩	2018年4月14日～7月1日
141	猪熊弦一郎展 風景、顔	2018年7月14日～9月30日

常設展

No.	展覧会名	会期
	猪熊弦一郎展 じつにいろいろ描きました (年報2015-2016参照)	2017年2月25日～5月28日
2017年度	猪熊弦一郎展 ふしぎな形	2017年6月10日～9月3日
	猪熊弦一郎展 ニューヨークへ 1955-	2017年9月16日～12月3日
	猪熊弦一郎展 人物像	2017年12月17日～2018年3月25日
2018年度	猪熊弦一郎のおもちゃ箱	2018年4月14日～7月1日
	美術館は心の病院 猪熊弦一郎とMIMOCA	2018年7月14日～9月30日

II

展覧会事業

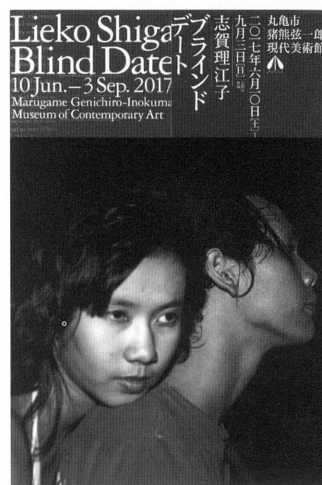
ii 企画展

137 志賀理江子 ブラインドデート

- 会 期 2017年6月10日(土)～9月3日(日)
会 場 1階エントランス、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
助 成 独立行政法人日本芸術文化振興基金、公益財団法人 花王芸術・科学財団
協 賛 株式会社カラーサイエンスラボ

写真を通して自身と社会が交差する接点に生じる「イメージ」の探求を続ける志賀理江子（1980- ）の5年ぶりの大規模な個展。本展は、2009年にバンコクの恋人たちを撮影したシリーズ「ブラインドデート」を出発点として、志賀が暮らす宮城県で制作された「吊い」「人間の始まり」「大きな資本」「死」等をめぐる考察と物語が作品化された。出品作品は、写真プリントの他に21台のスライドプロジェクターによってインスタレーションを構成。会場に置かれたプロジェクターの点滅は、生、暗闇と光、この世界に相反しながら同時に存在するものごとの隠喩でもある。私たちの肉眼で見えぬものは何か。その領域をこそ写し出す写真というメディアに懸ける志賀は、出来る限りの正直さで社会をまなざしながら、人間の生から離れない写真の空間を立ち上げることを目指した。

志賀にとって初の試みとなったスライドプロジェクターを使った作品制作や、自らが執筆したテキストの表示、また展覧会が「学びの場」となることを目指して実施した全4回のリレートークとワークショップなど、これまでの活動を大きく超えた新たな地平を開くことができた。



撮影：志賀理江子

制作物 会場図・作品リスト、子ども向けリーフレット

入場者数**9,683**人

関連企画

ブラインドデート・ライブラリー

6月10日(土)～9月3日(日)
会 場 2階美術図書室
料 金 無料
参加者数 2,260人

リレートーク「竹内万里子×志賀理江子
『ルワンダ ジェノサイドから生まれて』について

7月1日(土) 14時～
会 場 2階造形スタジオ
講 師 竹内万里子(写真批評家)、志賀理江子
料 金 無料
参加者数 70人

リレートーク「いがらしみきお×志賀理江子
『I【アイ】』について』

6月10日(土)14時～
会 場 2階造形スタジオ
講 師 いがらしみきお(漫画家)、志賀理江子
料 金 無料
参加者数 93人

リレートーク「土田朋水×志賀理江子
『ビッグイシュー日本版』について」

8月6日(日) 14時～
会 場 2階造形スタジオ
講 師 土田朋水(編集者)、志賀理江子
料 金 無料
参加者数 91人

オープニングパーティー

6月10日(土) 16時～17時
会 場 3階カフェレストMIMOCA
料 金 無料
参加者数 91人

リレートーク「飴屋法水×志賀理江子
『キミは珍獣(ケダモノ)と暮らせるか?』について」

9月3日(日) 14時～
会 場 2階造形スタジオ
講 師 飴屋法水(演出家・美術家・動物商)、
志賀理江子
料 金 無料
参加者数 274人

志賀理江子 アーティスト・トーク

6月11日(日) 14時～
会 場 2階造形スタジオ
講 師 志賀理江子
料 金 無料
参加者数 92人

キュレーターズ・トーク

6月18日(日)、25日(日)、7月9日(日)、16日(日)、
23日(日)、30日(日)、8月13日(日)、20日(日)、
27日(日)
各日14時～
参加者数 163人(9日間合計)

138 猪熊弦一郎展 戦時下の画業

会 期 2017年9月16日(土)～11月30日(木)

会 場 2階展示室A、3階展示室C

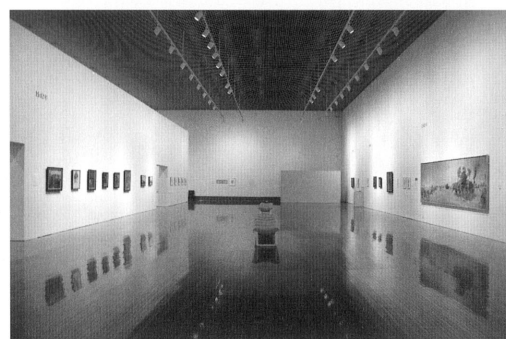
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

猪熊弦一郎（1902-93）の40歳前後の時期にあたる、戦時下における画業をたどる展覧会。猪熊は1938年、パリに遊学するも翌39年に第二次世界大戦が勃発、戦況の悪化に伴い帰国を余儀無くされる。日本においても戦時色は日ごとに増し、41年には文化視察の名目で中国へ、同年12月に太平洋戦争が開戦してのちは、作戦記録画を描く従軍画家として、42年フィリピン、43年ビルマ（現ミャンマー）と、三度戦地へ派遣された。

猪熊が軍の委嘱で描いた作戦記録画として、当時の資料から画像が確認できるものが三点あり、そのうち二点は行方が分からず、もう一点、ビルマの泰緬鉄道建設現場を描いた《〇〇方面鉄道建設》（1944年、東京国立近代美術館所蔵 無期限貸与作品）のみ現存している。他に戦争を直接あらわした絵はほとんど残っておらず、一方、従軍先で市井の人々や風景を描いた油彩画、疎開先で描いたデッサンなどは、猪熊の手元に保管されていた。その多くは日常を描いた当たり障りのない写実的なもので、表現が規制された当時の状況や、それでも何か描かずにはいらなかった画家の有り様がうかがえる。

戦後、猪熊は戦争画について、自分の思いを語ることはほぼなかった。戦後70年を過ぎて戦時下の芸術が再考されるなか、本展では、同時期の猪熊の足跡をたどり、一人の画家が戦争とどう向き合い、その画業に戦争がどう影響したのかを検証した。作戦記録画を含む当時の作品に加え、写真、日記、書籍、書簡等の資料、当時親交が深かった藤田嗣治、佐藤敬、小磯良平等、他作家の記録画もあわせて紹介した。

制作物 子ども向けリーフレット



入場者数9,473人

関連企画

「猪熊弦一郎展 戦時下の画業」講演会

11月12日(日) 15時～
会 場 3階展示室C
講 師 榎木野衣(美術批評家)
料 金 無料(要観覧券チケット)
参加者数 65人

キュレーターズ・トーク

9月24日(日)、10月1日(日)、8日(日)、15日(日)、
22日(日)、29日(日)、11月5日(日)、26日(日)
各日14時～
参加者数 81人(8日間合計)

「猪熊弦一郎展 戦時下の画業」 スペシャルギャラリートーク

11月19日(日) 15時～
会 場 3階展示室C
講 師 満田康弘(KSB瀬戸内海放送
報道クリエイティブユニットタスク
マネージャー)
料 金 無料(要観覧券チケット)
参加者数 40人

139 荒木経惟 私、写真。

会 期 2017年12月17日(日)～2018年3月25日(日)
会 場 1階エントランス、3階展示室C
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
助 成 一般財団法人自治総合センター
協 力 一色事務所、エプソン販売株式会社、株式会社写真弘社、art space AM

1960年代から活躍を続ける写真家、荒木経惟(1940-)のこれまでと現在を紹介した。荒木の写真に通底する「死と生」を強く感じさせ、また「死と生」は対極にあるものではなく、いつでも入れ替わってしまうものであり、一方があることで他方を尊重できるという荒木の死生観を反映したような、フィルムやプリントにペイントしたり、あるいは撮影時に何かしらの工夫をした写真を中心に出品作品を構成した。なお、丸亀市出身の花人、中川幸夫(1918-2012)へのオマージュとしての「花霊園」、友人の遺品であるカメラで撮影した「北乃空」、葛飾北斎の命日と自身の誕生日のいずれかの日付が入った「北斎乃命日」、ヌードの女性の写真にペイントした「恋人色淫」が本展のために制作された。

荒木の旺盛な写真への欲望を反映するため、新作の4シリーズ204点を含む952点の写真を展示し、撮ることと生きることが重なりあっている「荒木の生」を感じさせた。また、これらの写真を通して鑑賞者が写真表現の多様性を知るとともに、自らの生を今一度、見つめる機会とした。

刊行物 カタログ

制作物 作品リスト、子ども向けリーフレット

関連企画

みんなで知ろう!アラキー。

①2018年1月14日(日)、2月11日(日・祝)
②3月10日(土)、11日(日)
各日11時～11時30分
対 象 ①小学生
②中学生・高校生とその年齢にあたる方
※①②ともに保護者も一緒に参加可
会 場 3階展示室C
料 金 無料(要展覧会チケット)
参加者数 49人

キュレーターズ・トーク

12月17日(日)、24日(日)、2018年1月7日(日)、14日(日)、21日(日)、28日(日)、2月4日(日)、11日(日・祝)、18日(日)、25日(日)、3月4日(日)、11日(日)、18日(日)、25日(日)
各日14時～
参加者数 324人(14日間合計)



撮影：高橋章

入場者数10,347人

140 荒井茂雄展 人生の詩

会 期 2018年4月14日(土)～7月1日(日)

会 場 1階エントランス、2階展示室A・B

主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

協 力 丸山晚霞記念館

戦後すぐに猪熊に師事し、以降の長い作家活動の中でジャンルにとらわれない多彩な作品を生み出し、現在もお新たな表現への探求を続ける荒井茂雄（1920-）の個展として開催した。

長野県に生まれた荒井は、幼い頃から絵を得意とし、同県上田市で友禅と日本画を学んだ後、猪熊に師事した。初期には花や鳥などをモチーフとした油彩画を制作していたが、80年代半ばより、色彩豊かで実験的な抽象表現や、身近な日用品を組み合わせた立体作品を手がけるようになった。そして近年では、自らの作品や浮世絵などのイメージを組み合わせたコラージュに着手するなど、その表現の展開は豊かな様相を呈している。一方で、いずれの時期においても、鮮やかな色彩を巧みに操る感覚や、素材やモチーフの意外な組み合わせ、日常の中にあるものへの新鮮なまなざしなど、猪熊の教えを受け継ぎつつ、荒井が確立した固有の精神が息づいている。

荒井は、猪熊ゆかりの地である丸亀市や当館と長年深く関わり続け、2016年度には丸亀市文化振興賞を受賞した。本展は、時期ごとの代表的な作品、そして97歳にして取り組んだ最新のシリーズをあわせて展示し、その70年以上におよぶ画業を「第二の故郷」丸亀で一堂に紹介した。

制作物 パンフレット、子ども向けリーフレット

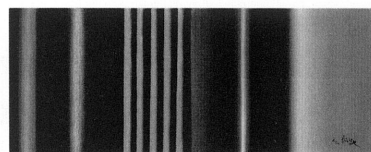
関連企画

オープニング・セレモニー

4月14日(土) 10時～
会 場 1階エントランス
料 金 無料
参加者数 59人

キュレーターズ・トーク

5月6日(日)、6月3日(日)、7月1日(日)
各日14時～
参加者数 53人 (3日間合計)



入場者数 **5,312**人

141 猪熊弦一郎展 風景、顔

会 期 2018年7月14日(土)～9月30日(日)

会 場 2階展示室B、3階展示室C

主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

猪熊の70年に及ぶ画業のなかでもよく知られている、1960年代半ばから1970年代前半に発表した「Landscape」と題した抽象画と、晩年に「顔」をシンプルに描いた作品を中心に、20代から折にふれて描いた風景と顔の作品117点を展示した。

展示構成として、美術学校在学中から渡仏まで、パリ滞在期、戦中から渡米まで、ニューヨーク滞在期、夫人没後の5つの時期に分け、渡米までの3期は、風景、顔の両作品ともに展示、ニューヨークは風景のみ、夫人没後は顔の作品のみを出品。いつも変わらず「絵として美しい」ものを描こうとした猪熊の、具象画における描き方の変遷、猪熊が見ていた風景と風景をテーマとした猪熊の抽象画との関係、ニューヨークでの抽象画制作を経たあとの猪熊にとっての具象と抽象の関わりを順を追って紹介した。

制作物 子ども向けリーフレット



関連企画

「猪熊弦一郎展 風景、顔」講演会

9月24日(月・祝) 14時～
 会 場 2階展示室B
 講 師 木本文平
 (碧南市藤井達吉現代美術館館長)
 料 金 無料(要観覧チケット)
 参加者数 76人

キュレーターズ・トーク

8月5日(日)、9月2日(日)
 各日14時～
 参加者数 53人(2日間合計)

入場者数 **10,414**人

II

展覧会事業

iii 常設展 「猪熊弦一郎展」

ふしぎな形 2017年6月10日(土)～9月3日(日)

猪熊は1975年から東京とハワイを拠点として、90歳で亡くなるまで制作を続けた。この時期の作品には具象も抽象も様々な形が登場し、一枚の絵の中にバランスよく配置され、互いに美しさや面白さを引き立てあっている。本展では「形」に注目して晩年の作品を紹介した。

入場者数11,519人

ニューヨークへ 1955- 2017年9月16日(土)～12月3日(日)

猪熊は1955年から1975年までニューヨークを制作の拠点とした。渡米後、作品は具象から抽象へと変わったが、その抽象画も時とともに変化している。50歳を過ぎた猪熊が、自身を磨かざるを得ない厳しい環境であるニューヨークに身を置き、美を探求した約20年間の作品を紹介した。

入場者数10,545人

人物像 2017年12月17日(日)～2018年3月25日(日)

猪熊は画業の前半は具象画を描いていた。その主なモチーフは人物で、多くは女性像であった。本展では初期に描いた人物像や、パリの市井の人々を描いた滞仏中の作品、そして戦後すぐから担当していた『小説新潮』の表紙絵などを紹介した。

入場者数11,471人

猪熊弦一郎のおもちゃ箱 2018年4月14日(土)～7月1日(日)

猪熊を紹介する同タイトルの書籍（小学館、2018）にちなんだ展覧会。代表的な絵画作品に、ガラクタをアレンジした小さなオブジェ、無心に描いたスケッチブック、センスあふれる収集品などを織り交ぜ、猪熊の生涯を展観した。3階展示室Cを会場とした。

関連企画

講演会 岡本仁「画家のおもちゃ箱」

6月2日(土)14時～
会場 3階展示室C
講師 岡本仁（編集者）
料金 無料（要展覧会チケット）
参加者数 52人

キュレーターズ・トーク

5月6日(日)、6月3日(日)、7月1日(日)
各日15時～
参加者数 63人（3日間合計）

入場者数**6,987**人

美術館は心の病院 猪熊弦一郎とMIMOCA 2018年7月14日(土)～9月30日(日)

当館（MIMOCA）は猪熊の全面的な協力のもと開館した。MIMOCAは猪熊の「美術館は心の病院」という考えを実現すべく丸亀市と協議を重ねて形作られ、そして猪熊の思いを受け継ぎ活動を続けている。本展では各種資料や猪熊の言葉を用いて、これまでのあゆみを振り返りながら、猪熊がMIMOCAに込めた思いを紹介した。

制作物 パンフレット

関連企画

#美術館は心の病院 みなさんのエピソード 教えてください

7月14日(土)～9月30日(日)
参加者数 362人

キュレーターズ・トーク

8月5日(日)、9月2日(日)
各日15時～
参加者数 29人（2日間合計）

入場者数**11,637**人

Ⅲ

教育普及事業

i ワークショップ

子どもたちの豊かな感性と創造力を伸ばし、育むことを目的としてワークショップを開催した。ワークショップによってはボランティアを募集し、運営のご協力をお願いしている。

なお、2018年度のワークショップは「丸亀ここがMIMOCA キッズデイ」として開催した（「丸亀ここがMIMOCA」については「Ⅲ教育普及事業 iii地域連携事業」参照）。改修工事による美術館休館中（2019年1月～）は、丸亀駅前の旧重元果物店および丸亀市内の公共施設を会場とした。

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内容	展示期間・場所・観覧者数
ぞうがんでみよう	2017年4月 ①1日(土) ②2日(日) 10時～12時 2階造形スタジオ	松村亮平	小・中学生	①17人 ②18人	①12人 ②15人	200円	木に好きな図柄を彫り、木くずなどを埋め込んで模様をつくる象嵌技法を使って、道具や置物をつくる。	
【丸亀お城まつり協力事業】 押忍！ミモカおもちゃ道場	2017年5月3日 (水・祝)・4日 (木・祝) 10時～16時 1階ゲートプラザ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	461人 (2日間合計)	490人 (2日間合計)	200円	「あそぶ」「きそう」「つくる」という3つのテーマに合わせた8種類のおもちゃとゲームを楽しむ。	
【志賀理江子 ブラインドデート】展関連 石拾い	2017年7月2日(日) 13時～16時 2階造形スタジオ、土器川周辺	志賀理江子	小学生～大人	26人	11人	無料	講師より「弔い」についての話を聞き、川へ石を拾いに行く。美術館に戻り、石を囲みながら、なぜその石を拾ってきたのかなどを話し合う。	2017年7月5日(水)～13日(木) 2階造形スタジオ 476人



【丸亀お城まつり協力事業】
押忍！ミモカおもちゃ道場
(2017年5月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容	展示期間・ 場所・観覧者数
【(公財)丸亀市体育協会協力事業】丸亀市体育協会婦人部夏季体育大会「はてさてタイトルこれなんだ？」	2017年7月7日(金) 9時30分～12時 丸亀市民体育館	美術館スタッフ	丸亀市体育協会婦人部	230人	0人	無料	チームに分かれて、猪熊作品のタイトルを当てるゲームに挑戦する。	
世界に一つのミニチュアワールド	2017年7月22日(土)～27日(休) ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	436人 (6日間合計)	274人 (6日間合計)	200円	好きなテーマを決めて、ダンボールの舞台と様々な飾り付け素材を使って、ミニチュアの世界をつくる。	2017年9月10日(日)～26日(火) 2階造形スタジオ 1,088人
動いて見える！？回転8面シアター	2017年8月9日(水)～13日(日) ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	159人 (5日間合計)	120人 (5日間合計)	300円	少しずつ変化する8枚の絵を描き、回転させると絵が動いて見える工作をつくる。	
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	2017年 ①9月30日(土) ②10月1日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	①216人 ②187人	①5人 ②6人	無料	壁に貼られた長い紙の上に水彩絵具で自由に絵を描いたり、土粘土を使って立体造形をする。	2017年10月2日(月)～13日(金) ※10月11日、12日は閉室 2階造形スタジオ 664人
見えない風景 香川／丸亀編	2017年 10月15日(日) 10時～16時 2階造形スタジオ、美術館周辺	下道基行	小学5年生～大人	14人	0人	無料	美術館周辺を歩き、気になったものや面白いと思うものを言葉で白地図に書き込む。その後、見つけたものを皆で見て回る。	2017年10月19日(休)～11月17日(金) 2階造形スタジオ 1,571人
【開館26周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY】関連 ○△□おもしろスタンプで顔をつくろう	2017年 11月23日(木・祝) 10時～17時 館内各所	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	554人	0人	無料	受付で顔の形のカードを受け取り、館内のクイズスポットをまわる。クイズに答えたら顔のパーツのスタンプを押して、顔を完成させる。	2017年12月17日(日)～2018年1月11日(木) ※12月23日、25日～31日は閉室 2階造形スタジオ 3,236人
貼って遊ぼう べたべた！クリスマス	2017年12月 ①2日(土) ②3日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	①80人 ②127人	0人	無料	壁に貼られた大きなツリーや星などの台紙の上に、様々な色や大きさの○△□の紙やシールを貼ったり、クレヨンなどで絵を描いたりする。	



見えない風景 香川／丸亀編
(2017年10月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容	展示期間・ 場所・観覧者数
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	2018年1月 ①27日(土) ②28日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	①156人 ②248人	0人	無料	14頁の「遊ぼう！水彩絵具と土ねんど」と同内容。	2018年 1月29日(月)～ 2月8日(木) 2階造形スタジオ 1,706人
【荒木経惟 私、写真。】 展関連 写真でかくれんぼ	2018年2月11日 (日・祝) 13時～16時 館内各所	美術館スタッフ	小学生～大人	24人	14人	300円	ポラロイド社のカメラを使って、場所を特定されないように工夫して館内を撮影する。その後、チームに分かれて、撮影したものを探し合う。	2018年2月12日(月・祝)～ 17日(土) 2階造形スタジオ 1,023人
貼って遊ぼう べたべた！ じぶんのかたち	2018年3月 ①24日(土) ②25日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	子どもと保護者	①162人 ②160人	0人	無料	自身の体の輪郭を写し取った紙を台紙にして、様々な色や大きさの○△□の紙やシールを貼ったり、クレヨンなどで絵を描いたりする。	
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	2018年4月 ①21日(土) ②22日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	2歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①70人 ②62人	①3人 ②0人	無料	14頁の「遊ぼう！水彩絵具と土ねんど」と同内容。	
【丸亀お城まつり協力事業】 「いのくまさんの日」特別 版オープンワークショップ 切って、貼って、キャンバスになんでもコラージュ	2018年5月3日 (木・祝)・4日 (金・祝) 11時～15時30分 1階ゲートプラザ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	212人 (2日間合計)	110人 (2日間合計)	200円	受付で25センチ角のキャンバスを受け取る。フェルトなど様々な材料から好きなものを選び、配置を考えて貼り付け、コラージュ作品をつくる。	
めかくしアートツアー	2018年5月 ①19日(土) ②20日(日) 10時30分～11時30分、14時～15時 2階造形スタジオ、 2階展示室A・B	美術館スタッフ	小学生～高校生	①15名 ②13名	0人	無料	企画展「荒井茂雄展 人生の詩」の作品を二人一組のペアで鑑賞する。一人が目かくしをして、もう一人がペアの相手に言葉で作品を説明する。	



めかくしアートツアー
(2018年5月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容	展示期間・ 場所・観覧者数
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	2018年6月 ①16日(土) ②17日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	2歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①249人 ②295人	0人	無料	14頁の「遊ぼう！水彩絵具と土ねんど」と同内容。	
【(公財)丸亀市体育協会協力事業】丸亀市体育協会婦人部夏季体育大会「ジェスチャーゲーム」	2018年7月6日(金) 9時30分～12時 丸亀市民体育館	美術館スタッフ	丸亀市体育協会婦人部				大雨警報発令のため開催中止となった。	
見よう話そう！ちびっこアートツアー	2018年7月 ①21日(土) ②22日(日) a. 10時～11時、 b. 13時30分～14時30分 2階造形スタジオ、 3階展示室C	美術館スタッフ	a. 4歳～小学2年生(要保護者同伴) b. 小学3年生～6年生	①16人 ②21人	0人	無料	企画展「猪熊弦一郎展 風景、顔」を、美術館スタッフと参加者で一緒に鑑賞する。感じたことや思ったことなどを話し合いながら展示室を回る。	
【夏休みオープンワークショップ】 光で変身！ピカッとオブジェ	2018年7月 ①26日(休) ②27日(金) 10時～12時、13時30分～15時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	①102人 ②91人	①49人 ②68人	200円	押すと光るライトに、ペットボトルやカラーセロハンなどの透ける素材を組み合わせ、光らせると変身するオブジェをつくる。	
【夏休みオープンワークショップ】 絵を見て描こう！スケッチに挑戦	2018年8月12日(日) 10時～16時 2階造形スタジオ、 2階アートセンター	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	113人	47人	無料	猪熊の絵画作品を見ながら画用紙に鉛筆でスケッチをする。その後、絵具やクレヨンなどで色を塗ったり、模様を描いたりして完成させる。	
貼って遊ぼう べたべた！ おさかなワールド	2018年8月 ①18日(土) ②19日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	2歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①175人 ②160人	①0人 ②8人	無料	壁に貼られた大きな魚などの台紙の上に、カラフルなビニールや様々な色や大きさの○△□の紙を貼ったり、クレヨンなどで絵を描いたりする。	



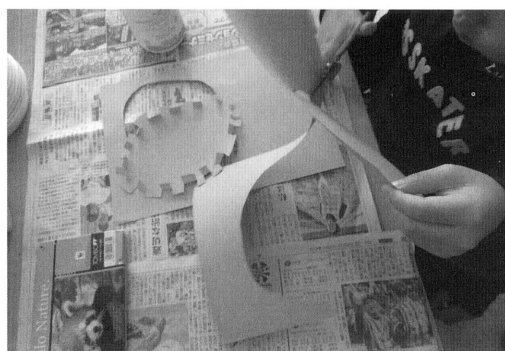
貼って遊ぼう べたべた！
おさかなワールド
(2018年8月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容	展示期間・ 場所・観覧者数
かお・顔・スケッチ	2018年9月 ①15日(土) ②16日(日) 10時～11時30分、 13時30分～15時 2階造形スタジオ、 3階展示室C	美術館スタッフ	小学生～高校生	①21人 ②24人	①9人 ②17人	無料	企画展「猪熊弦一郎展 風景、顔」を、猪熊が描いた顔に注目しながら鑑賞した後、大型図版やモデルを見ながら顔をスケッチする。	
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	2018年10月 ①20日(土) ②21日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	2歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①131人 ②143人	0人	無料	14頁の「遊ぼう！水彩絵具と土ねんど」と同内容。	
ミモカであそび、アートであそび	2018年11月 ①17日(土) ②18日(日) a. 10時～11時 b. 13時30分～14時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ	a. 4歳～小学2年生(未就学児は要保護者同伴) b. 小学3年生～高校生	①9人 ②15人	①5人 ②0人	無料	猪熊作品の大型図版を見ながら描かれた人物のポーズをまねしたり、アートカードを使ってゲームをしたりして遊ぶ。	
【開館27周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY】 関連 ミモカたてもものさんぽ	2018年11月23日 (金・祝) 10時～16時 館内各所	美術館スタッフ、ボランティア	子どもから大人まで	1,024人	0人	無料	ガイドブックを見て、ミモカや猪熊についてのクイズに答えながら館内を散歩する。ゴールでは展示室の広さを体験したり、ゲームをしたりして遊ぶ。	
貼って遊ぼう ペタペタ！ クリスマス	2018年12月 ①15日(土) ②16日(日) 10時～11時30分 2階造形スタジオ	美術館スタッフ、ボランティア	2歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①107人 ②125人	0人	無料	14頁の「貼って遊ぼう ペタペタ！クリスマス」と同内容。	
つくって遊ぼう！にぎやか かるた	2019年1月 ①19日(土) ②20日(日) 10時30分～12時 丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター)	美術館スタッフ、ボランティア	2歳～中学生(未就学児は要保護者同伴)	①16人 ②51人	0人	無料	色々な音が書かれたカードを引いて、自由に連想したものを描いた後、言葉をつけてかるたの札をつくる。最後は参加者同士でかるた遊びをする。	



貼って遊ぼう ペタペタ！クリスマス
(2018年12月)

ワークショップ名	開催日時・会場	講師	対象	参加者	見学者	参加費	内 容	展示期間・ 場所・観覧者数
はじめてのデザイン ラ ベルをかんがえてみよう	2019年2月 ①16日(土) ②17日(日) 10時30分～12時 旧重元果物店	美術館スタ ッフ	3歳～高校 生(未就学 児は要保護 者同伴)	①14人 ②35人	①1人 ②0人	無料	身の回りのものの美しさを 考えながら、自分が欲しい と思うお菓子や飲み物など を想像して、ラベルをつく る。	
貼って遊ぼう ペたペた！ じぶんのかたち	2019年3月 ①16日(土) ②17日(日) 10時30分～12時 丸亀市飯山総合 保健福祉センター	美術館スタ ッフ、ボラ ンティア	2歳～中学 生(未就学 児は要保護 者同伴)	①52人 ②141人	0人	無料	15頁の「貼って遊ぼう ペ たペた！じぶんのかたち」 と同内容。	



はじめてのデザイン
ラベルをかんがえてみよう
(2019年2月)

III

教育普及事業

ii スクールプログラム

1 学校等団体での来館

幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・高校・大学・一般等の団体来館を対象とした、対話をしながらの作品鑑賞を行っている。教職員のご希望、生徒の興味、来館生徒数などに応じて団体ごとにプランを組み立てている。

2017年度

事業名	団体の種類	件数	来館者数 (引率者含む)
企画展 開館25周年記念 MIMOCAコレクション じつはいろいろあるんです！ 常設展 猪熊弦一郎展 じつにいろいろ描きました 4月1日(土)～5月28日(日)	保育所	1	889
	幼稚園	1	
	小学校	5	
	中学校	0	
	高校	4	
	大学	1	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	一般	19	
企画展 志賀理江子 ブラインドデート 常設展 猪熊弦一郎展 ふしぎな形 6月10日(土)～9月3日(日)	保育所	3	1,017
	幼稚園	2	
	小学校	2	
	中学校	1	
	高校	5	
	大学	7	
	専門学校	0	
	養護学校	1	
	一般	26	
企画展 猪熊弦一郎展 戦時下の画業 9月16日(土)～11月30日(木) 常設展 猪熊弦一郎展 ニューヨークへ 1955- 9月16日(土)～12月3日(日)	保育所	0	3,132
	幼稚園	1	
	小学校	9	
	中学校	0	
	高校	0	
	大学	4	
	専門学校	2	
	養護学校	2	
	一般	38	
企画展 荒木経惟 私、写真。 常設展 猪熊弦一郎展 人物像 12月17日(日)～3月25日(日)	保育所	2	1,091
	幼稚園	3	
	小学校	4	
	中学校	0	
	高校	3	
	大学	2	
	専門学校	0	
	養護学校	0	
	一般	28	
計		176	6,129

2018年度

事業名	団体の種類	件数	来館者数 (引率者含む)
企画展 荒井茂雄展 人生の詩 常設展 猪熊弦一郎のおもちゃ箱 4月14日(土)～7月1日(日)	未就学児 小学生 中学生 高校生 大学生 一般	4 8 0 6 0 20	1,348
企画展 猪熊弦一郎展 風景、顔 常設展 美術館は心の病院 猪熊弦一郎とMIMOCA 7月14日(土)～9月30日(日)	未就学児 小学生 中学生 高校生 大学生 一般	3 11 3 5 9 23	1,446
計		92	2,794

2 鑑賞教材貸出

鑑賞教材「ミモカ・アートカード」、映像教材「guén 猪熊弦一郎」(DVD・16分24秒)、大型図版「みんなのミカタ」、大型図版「みんなのミカタ2」の計4種類の教材を貸し出している。

貸出先としては主に小学校・中学校・高等学校などの教育機関で、中でも市内の小中学校が最も多い。また、鑑賞教育や鑑賞教材についての研究などを目的に、大学や美術関連施設からの貸出依頼も見られ、幅広い対象へ貸出されている状況である。

年度	貸出施設数 (延べ)	各教材の貸出件数				
		アートカード	DVD	大型図版	大型図版2	合計(延べ)
2017年度	18	17	8	8	9	42
2018年度	29	24	12	9	9	54
計	47	41	20	17	18	96



鑑賞教材「ミモカ・アートカード」



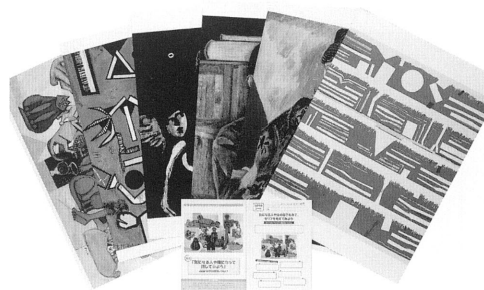
映像教材「guén 猪熊弦一郎」



鑑賞学習教材 大型図版「みんなのミカタ」



「ミモカ・アートカード」を使った授業の様子



鑑賞学習教材 大型図版「みんなのミカタ2」

3 博物館実習

博物館学芸員資格取得のために科目単位を履修中の方を受け入れ、収集・保管・展示、調査研究、教育普及等に関する実習を行っている。

	実習日程	実習者数(人)
2017年度	2017年8月23日(水)～28日(月)	2

※2018年度は博物館実習を実施していない。

4 職場体験

近隣の小学生・中学生・高校生を対象に実際に現場を体験して勤労観・職業観や社会的なマナーを身につけ、将来の進路選択につなげてもらえるよう、職場体験実習の受け入れを行っている。

2017年度

実習期間	学校名	参加者数(人)
2017年10月31日(火)・11月1日(水)	丸亀市立南中学校	5
計		5

2018年度

実習期間	学校名	参加者数(人)
2018年7月23日(月)・24日(火)	香川県藤井高等学校	3
10月23日(火)・24日(水)	丸亀市立南中学校	4
10月25日(木)・26日(金)	丸亀市立西中学校	6
11月7日(水)・8日(木)	丸亀市立飯山中学校	3
計		16

5 ミモカキッズパスポート

猪熊は子どもたちとその作品を心から愛して止まなかった。そして、美しいものや楽しいものをたくさん見てもらうことで、感性豊かな人間に成長して欲しいと願っていた。当館では、1996年5月より高校生以下および18歳未満は入館無料としている。子どもたちが自主的に美術館を訪れ、様々な作品に触れる機会を多く持つことで、芸術に親しむ心が育まれることを願い、1997年7月よりミモカキッズパスポートを製作・配布している。

2017年度および2018年度は、展覧会を観覧したり、ワークショップや「丸亀ここがMIMOCA」に参加したりした子どもたちのパスポートにスタンプを押印し、スタンプを集めた数に応じて、オリジナル缶バッジや対話彫刻キットとエコバッグをプレゼントした。



2017年のミモカキッズパスポート

期間 毎年4月から1年間有効

対象 2017年度 市内保育所・幼稚園・小学生全員、高校生以下および18歳未満の来館者で希望した人

2018年度 高校生以下および18歳未満の来館者または「丸亀ここがMIMOCA」参加者で希望した人



2018年のミモカキッズパスポート

ミモカキッズパスポート年間利用者数

2017年4月～2019年3月

2017年度

展覧会名	会期	幼・保	小	中・高	小計
開館25周年記念 MIMOCAコレクション じつはいろいろあるんです！	4月1日(土)～5月28日(日)	70	51	0	121
志賀理江子 ブラインドデート	6月10日(土)～9月3日(日)	39	46	2	87
猪熊弦一郎展 戦時下の画業	9月16日(土)～11月30日(木)	18	33	2	53
開館26周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY	11月23日(木・祝)	12	5	0	17
荒木経惟 私、写真。	12月17日(日)～2018年3月25日(日)	78	29	2	109
計		217	164	6	387

ワークショップ名	開催日	幼・保	小	中・高	小計
ぞうがんでみよう	4月1日(土)・2日(日)	0	10	0	10
【丸亀お城まつり協力事業】押忍！ミモカおもちゃ道場	5月3日(水・祝)・4日(木・祝)	167	216	1	384
【志賀理江子 ブラインドデート】展関連 石拾い	7月2日(日)	0	0	0	0
世界に一つのミニチュアワールド	7月22日(土)～27日(木)	37	45	0	82
動いて見える！？回転8面シアター	8月9日(水)～13日(日)	14	23	0	37
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	9月30日(土)・10月1日(日)	28	18	0	46
見えない風景 香川／丸亀編	10月15日(日)	0	0	0	0
【開館26周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY】関連 ○△□おもしろスタンプで顔をつくろう	11月23日(木・祝)	31	30	4	65
貼って遊ぼう べたべた！クリスマス	12月2日(土)・3日(日)	31	7	0	38
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	2018年1月27日(土)・28日(日)	42	7	0	49
【荒木経惟 私、写真。】展関連 写真でかくれんぼ	2月11日(日・祝)	2	4	0	6
貼って遊ぼう べたべた！じぶんのかたち	3月24日(土)・25日(日)	18	6	0	24
計		370	366	5	741

2018年度

展 覧 会 名	会 期	幼・保	小	中・高	小計
荒井茂雄展 人生の詩	4月14日(土)～7月1日(日)	12	67	6	85
猪熊弦一郎展 風景、顔	7月14日(土)～9月30日(日)	41	45	6	92
計		53	112	12	177

事 業 名	開 催 期 間	幼・保	小	中・高	小計
丸亀ここがMIMOCA 通常プログラム	4月14日(土)～31日(日)	1	8	1	10
	5月1日(火)～31日(木)	20	16	3	39
	6月1日(火)～30日(土)	12	20	1	33
	7月1日(日)～31日(火)	29	26	0	55
	8月1日(水)～31日(金)	41	147	3	191
	9月1日(土)～30日(日)	21	9	0	30
	10月1日(月)～31日(水)	5	16	0	21
	11月1日(木)～30日(金)	2	4	0	6
	12月1日(土)～24日(月・祝)	9	13	0	22
	2019年1月5日(土)～1月31日(木)	3	2	0	5
	2月1日(金)～28日(木)	4	7	0	11
	3月1日(金)～31日(日)	1	1	0	2
計		148	269	8	425

ワークショップ名	開 催 日	幼・保	小	中・高	小計
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	4月21日(土)・22日(日)	27	12	0	39
【丸亀お城まつり協力事業】「いのくまさんの日」特別版オープンワークショップ 切って、貼って、キャンバスになんでもコラボージュ	5月3日(木・祝)・4日(金・祝)	46	44	2	92
めかくしアートツアー	5月19日(土)・20日(日)	4	11	1	16
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	6月16日(土)・17日(日)	96	16	0	112
見よう話そう！ちびっこアートツアー	7月21日(土)・22日(日)	9	5	0	14
【夏休みオープンワークショップ】 光で変身！ピカッとオブジェ	7月26日(木)・27日(金)	35	57	0	92
【夏休みオープンワークショップ】 絵を見て描こう！スケッチに挑戦	8月12日(日)	14	15	0	29
貼って遊ぼう ベたべた！おさかなワールド	8月18日(土)・19日(日)	38	34	0	72
かお・顔・スケッチ	9月15日(土)・16日(日)	8	9	0	17
遊ぼう！水彩絵具と土ねんど	10月20日(土)・21日(日)	22	18	0	40
ミモカであそぼ、アートであそぼ	11月17日(土)・18日(日)	4	2	0	6
【開館27周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY】関連 ミモカたてものさんぽ	11月23日(金・祝)	52	45	0	97
貼って遊ぼう ベたべた！クリスマス	12月15日(土)・16日(日)	26	1	0	27
つくって遊ぼう！にぎやかたるた	2019年1月19日(土)・20日(日)	15	0	0	15
はじめてのデザイン ラベルをかながえてみよう	2月16日(土)・17日(日)	7	0	0	7
貼って遊ぼう ベたべた！じぶんのかたち	3月16日(土)・17日(日)	13	2	0	15
計		416	271	3	690

III

教育普及事業

iii 地域連携事業

1 丸亀どこでもMIMOCA

美術館や猪熊について学ぶ機会を積極的に提供し、より多くの方に来館してもらうための取り組みとして、2012年度より開始。丸亀市在住あるいは勤務の方を対象とし、地域コミュニティ、老人ホーム、企業等で10名以上が集まれば、当館学芸員が訪問し、「MIMOCA」「猪熊弦一郎」「開催中の企画展」のテーマについてレクチャーを行う。同様に、10名以上の市民が来館した場合も、希望団体にはギャラリートークを開催している。

2017年度は本事業の案内を兼ねて地域のイベントにも参加した。2018年度はより多くの方に利用していただけるよう、申し込み条件やプログラム内容を一部変更した。申し込み可能な団体の人数を概ね3名からとし、また、これまでオプションとしていた「造形体験」（猪熊作品にちなんだ簡単な造形体験）・「鑑賞」（猪熊作品が掲載された大型図版やカードを使用）のみでも申し込みできるようにした。改修工事に伴い2018年10月から展示室が閉室となったため、10月以降は「開催中の企画展」の代わりに「アート入門」というテーマを設け、学芸員各々の研究テーマで講座内容を設定した。並行して、長期休館を見据えて学校向けの講座も設置した。市内の幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校を対象とし、美術館や猪熊に関連する5つのテーマを設けた。

年度	利用団体	美術館内 (団体)	美術館外 (団体)	計	利用人数
2017年度	ケアハウス綾歌、チャペルディセセンター、ディサービス和音、丸亀まちづくりとーくの会、広島愛育班、あいあーるケアセンター、山辺南いきいきサロン、島田自治会にこここ会、丸亀市婦人団体連絡協議会、城南コミュニティセンター、岡田コミュニティセンター、アトリエK、香川県歯科医師会、産砂自治会、丸亀市健康課心の健康グループ、丸亀少年を守る会、二軒茶屋いきいきサロン、川西町愛会い祭り、土器ふれあい祭り	15	4	19	422
2018年度	本島町泊自治会、珠光園ディサービス、城坤コミュニティセンター、ひつじが丘保育園地域子育て支援センター、ディサービス和音、瀬戸荘、NPO法人さぬきっずコムシアター、地域活動支援センターはなぞの、丸亀市医師会准看護学院、中府町ふれあいサロン、郡家長寿会、にじいろ茶屋、子ども食堂、はなみずき土器町、おしろのまちの市 秋の市Vol.2、山辺にこここサロン、社会福祉法人いのやま福祉会 野の花生活介護、なでしこ垂水、亀山学園、児童ディキッズランド、産砂自治会、飯山南コミュニティセンター、障がい者就労支援センターくぼら、第13回亀っ子ドンドン、健やかまるがめ21フェスタ、まるがめ子育てフェスタ、城辰地域子育て支援センター、富熊子育て支援センター、NPO法人すぶーん てくてく、b&gまるがめ、栗熊小学校、郡家小学校、城西小学校、飯山北小学校、城北小学校、城辰小学校、香川大学教育学部附属高松小学校(特別協力)、ほか個人宅1件	※	55	55	1,850
	計	15	59	74	2,272

※2018年度はギャラリートークを「丸亀ここがMIMOCA」内プログラムとして実施した。

2 丸亀ここがMIMOCA

2018年度は、館内および市内施設にて、より多くの方にMIMOCAを楽しんでいただくための事業「丸亀ここがMIMOCA」を開催した。2018年4月から12月までは2階造形スタジオにて、2019年1月以降の改修工事による休館期間中は丸亀駅前の旧重元果物店にて、「通常プログラム」として常時どなたでも参加いただける3つのプログラム（MIMOCAでひとやすみ・造形体験・対話型鑑賞）を実施した。旧重元果物店ではミュージアムショップのグッズ販売（出張ショップ）も行った。

また、毎月第3土曜日とその翌日の日曜日は「キッズデイ」として、18歳以下の子どもたちを対象にしたワークショップや対話型鑑賞などのプログラムを開催した（各月の「キッズデイ」の詳細は「Ⅲ教育普及事業 i ワークショップ」参照）。

その他、担当学芸員によるキュレーターズ・トーク（4月～12月の第1日曜日）や、1階エントランスや2階アートセンターに展示している作品の対話型鑑賞（4月～9月の第2・第4日曜日、10月～12月のキッズデイ開催日以外の日曜日）、団体での来館者への解説（4月～12月の開館中随時）も実施した。

11月23日の開館記念日は3階カフェレストMIMOCAにて、3つのプログラム（MIMOCAでひとやすみ・造形体験・対話型鑑賞）の他、お茶菓子によるおもてなしを行った。

内 容	開 催 日	会 場	利用人数
キッズデイ	2018年4月21日(土)、22日(日)、5月19日(土)、20日(日)、6月16日(土)、17日(日)、7月21日(土)、22日(日)、8月18日(土)、19日(日)、9月15日(土)、16日(日)、10月20日(土)、21日(日)、11月17日(土)、18日(日)、12月15日(土)、16日(日)	2階造形スタジオ	1,693
	2019年1月19日(土)、20日(日)、2月16日(土)、17日(日)、3月16日(土)、17日(日)	旧重元果物店、丸亀市保健福祉センター(ひまわりセンター)、丸亀市飯山総合保健福祉センター	310
キュレーターズ・トーク	2018年5月6日(日)、6月3日(日)、7月1日(日)、8月5日(日)、9月2日(日)	各展示会場	198
対話型鑑賞	2018年4月15日(日)、5月13日(日)、27日(日)、6月10日(日)、24日(日)、7月8日(日)、15日(日)、8月12日(日)、26日(日)、9月9日(日)、23日(日)、10月7日(日)、14日(日)、28日(日)、11月4日(日)、11日(日)、25日(日)、12月2日(日)、9日(日)、23日(日・祝)	1階エントランス、2階アートセンター	81
団体解説	2018年4月～12月の開館中随時	館内各所	2,048
開館記念日	2018年11月23日(金・祝)	3階カフェレストMIMOCA	700
丸亀ここがMIMOCAプログラム参加者 (上記イベント等含む)	2018年4月14日(土)～12月24日(月・祝)	2階造形スタジオ	7,779
	2019年1月5日(土)～2019年3月31日(日)	旧重元果物店	729
計			13,538

3 いのくまさんの日

2018年度は、猪熊弦“一”郎にちなんで、5月から11月までの毎月第1日曜日を「いのくまさんの日」として、美術に興味関心のある層だけでなく多種多様な層のお客様が日常的に来館しやすいムードを醸成するプログラムを実施した。「いのくまさんの日」当日は「トークフリーデー」として展示室で作品についての会話を自由に楽しみながら鑑賞いただけるような案内を1階受付や展示室で行った。あわせて来場者が猪熊作品への理解を深め、より会話を楽しんでいたよう1階入口付近で、猪熊の1991年の開館時のインタビューや亡くなる3日前に現代美術について語った音声をヘッドフォンで聴くことができる「いのくまさんのお話を聴こう！」コーナーを設けた。

いのくまさんの日関連プログラム（すべて詳細は「Ⅲ教育普及事業 iv イベント」参照）

10月7日(日)は2階ミュージアムホールで『guén 猪熊弦一郎』上映、11月4日(日)は2階ミュージアムホールで「藤井学園パフォーマンス」を開催した。

そのほか、11月23日(金・祝)に「MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.29 MIMOCA de 雑貨店」、12月23日(日・祝)には「MIMOCA ゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.30 野菜をおいしく食べる市」「MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.30 野菜をおいしく食べる市 ライブ」を開催した。

内 容	開 催 日	会 場	利用人数
いのくまさんの日 (「トークフリーデー」「いのくまさんのお話を聴こう！」)	2018年5月6日(日)	館内	282
	6月3日(日)	館内	173
	7月1日(日)	館内	370
	8月5日(日)	館内	420
	9月2日(日)	館内	384
	10月7日(日)	館内	71
	11月4日(日)	館内	27
計			1,727

4 ミモカシニアパスポート

当館では、丸亀市内在住の65歳以上の方は展覧会を無料で観覧することができる。このことをより広く周知し、市内の高齢者の方々に対して来館のきっかけをつくることを目的として、ミモカシニアパスポートを製作し、2017年12月より発行している。

発行後の有効期限は設けず、展覧会を観覧するたびにスタンプを1つ押印し、スタンプを10個集めた方には特典として猪熊作品のポストカードを贈呈した。

ミモカシニアパスポート年間利用者数

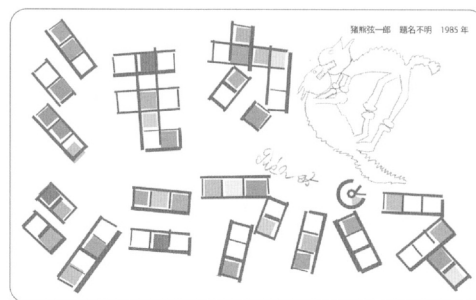
2017年12月～2018年9月

2017年度

展覧会名	会期	利用者数
荒木経惟 私、写真。	12月17日(日)～2018年3月25日(日)	363
計		363

2018年度

展覧会名	会期	利用者数
荒井茂雄展 人生の詩	4月14日(土)～7月1日(日)	157
猪熊弦一郎展 風景、顔	7月14日(土)～9月30日(日)	141
計		298



ミモカシニアパスポート

III

教育普及事業

iv イベント

※料金について記載のないものは無料

パブリックプログラム

PLAY vol.3 関連映像作品上映

日 時 2017年4月8日(土)～4月15日(土)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 1,066人

パフォーマンス・プロジェクト PLAY vol.3 塚原悠也
＜ヌカムリ・ジャミポスをめぐる21世紀の身体論＞シリーズ完結編
「エモーショナル・レスキュー」

日 時 2017年4月15日(土) 15時～
会 場 2階ミュージアムホール
構 成 ・ 出 演 塚原悠也
テクニカル・CG 松見拓也
ナレーション・出演 荒木優光
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
音 響 協 力 Saito & Co.
入 場 者 数 78人

平成29年度丸亀市文化講演会 まるがめ文化芸術祭2017特別事業
アートなんて役立たず？ 福のり子講演会

日 時 2017年9月10日(日) 13時30分～15時
会 場 2階ミュージアムホール
主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市文化振興事業協議会
入 場 者 数 95人

PLAY vol.4 関連映像作品上映

日 時 2018年2月20日(火)～24日(土)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 973人

パフォーマンス・プロジェクト PLAY vol.4 荒木優光
池は聞いている (ため池サウンドコレクションより)

日 時 2018年2月24日(土) 15時～
会 場 2階ミュージアムホール
構成・サウンドデザイン 荒木優光
出 演 NEW MANUKE：荒木優光、栗原ペダル、DISTEST (遠隔出演)
サ ウ ンド 荒木優光、NEW MANUKE
映 像 遠藤幹大
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 丸亀市水利組合
音 響 協 力 Saito & Co.
入 場 者 数 61人

ライブイベントSKY

SKY vol.18 おお雨 (おおはた雄一+坂本美雨) Live

日 時 2018年3月24日(土) 19時～21時
会 場 3階カフェレストMIMOCA
出 演 おお雨 (おおはた雄一+坂本美雨)
料 金 当日3,500円、前売3,000円
(共に当日の展覧会観覧料含む／1ドリンク付／小学生以下無料、中学生以上は大人と同額)
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、カフェレストMIMOCA、
Saito & Co.
協 力 五風十雨、TurnTable Jazz、デザインオフィス コトル、SKY Support Staff
入 場 者 数 146人

スクールプログラム

平成29年度 新春年賀版画・絵手紙展

日 時 2018年1月13日(土)～19日(金)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市造形教育研究会
共 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 3,648人

地域連携事業

2016年開催公募展「第3回 みんなで選ぶミモカアート賞」大賞受賞展
東條裕志 作品展 ガラスに刻む生命

日 時 2017年6月17日(土)～23日(金)
会 場 2階造形スタジオ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 786人

MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.24
ミモカフラフェスタ

日 時 2017年7月30日(日) 11時～17時
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 フラバンド12団体
主 催 フラフェスタat MIMOCA実行委員会、丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、国際ソロプチミスト丸亀、COSミュージックフェス実行委員会
入 場 者 数 688人

MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.25
第9回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル

日 時 2017年10月1日(日) 12時30分～17時
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 ビッグバンド6団体、四方田勇夫
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市ビッグバンドジャズフェスティバル実行委員会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 541人

開館26周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

日 時 2017年11月23日(木・祝) 10時～18時
会 場 館内各所
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
協 力 坂出第一高等学校
入 場 者 数 3,459人

開館26周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY
「guén 猪熊弦一郎」上映会

日 時 2017年11月23日(木・祝) 10時～18時
会 場 2階ミュージアムホール
入 場 者 数 276人

まるがめ文化芸術祭2017 特別事業 MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.26
創立110周年 坂出第一高等学校 ファッションデザイン科「ファッションショー」

日 時 2017年11月23日(木・祝) 11時～、14時～
会 場 1階ゲートプラザ
主 催 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会
協 力 坂出第一高等学校
入 場 者 数 701人

平成29年度丸亀市若手芸術家支援事業
西岡弘喜 フルーツリサイタル

日 時 2018年2月18日(日) 14時～
会 場 2階ミュージアムホール
料 金 500円(小学生以下無料)
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 180人

平成29年度丸亀市若手芸術家支援事業
(Re)Collection

日 時 2018年3月11日(日)～18日(日)
会 場 2階造形スタジオ
出 品 者 ヘスース・チャパーロ
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 573人

MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.27
ミモカフラフェスタ

日 時 2018年7月29日(日) ※台風接近の為中止

MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.28
第10回丸亀ビッグバンドジャズフェスティバル

日 時 2018年9月23日(日・祝) 12時～17時30分
会 場 1階ゲートプラザ
出 演 ビッグバンド6団体、河田健スーパークインテット
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市ビッグバンドジャズフェスティバル実行委員会、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 686人

いのくまさんの日関連プログラム
「guén 猪熊弦一郎」上映

日 時 2018年10月7日(日) 10時～18時
会 場 2階ミュージアムホール
入 場 者 数 71人

いのくまさんの日関連プログラム ミュージアムホールイベント
藤井学園パフォーマンス

日 時 2018年11月4日(日) 17時～17時45分
会 場 2階ミュージアムホール
出 演 藤井学園中学校・高等学校（音楽部、書道部、軽音楽〔日本音楽〕部、響舞連）
主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市文化振興事業協議会
協 力 学校法人藤井学園
入 場 者 数 50人

開館27周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

日 時 2018年11月23日(金・祝) 10時～18時
会 場 館内各所
主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市文化振興事業協議会
協 力 西日本放送株式会社
入 場 者 数 6,253人

開館27周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY
シンポジウム「いのくまさんのこと、ミモカのこと」

日 時 2018年11月23日(金・祝) 14時～16時
会 場 2階ミュージアムホール
パ ネ ラ ー 谷口吉生（建築家）、明石安哲（コラムニスト）、古谷誠章（建築家）、中山ダイスケ（東北芸術工科大学学長）、稲葉俊郎（医師）、中田耕市（金沢21世紀美術館キュレーター）
入 場 者 数 202人

開館27周年記念イベント MIMOCA'S BIRTHDAY

猪熊弦一郎生誕100周年記念番組「少年のように～描き続けた画家 猪熊弦一郎の世界～」上映

日 時 2018年11月23日(金・祝) 10時～18時
会 場 3階カフェレストMIMOCA
入 場 者 数 350人

MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.29

MIMOCA de 雑貨店

日 時 2018年11月23日(金・祝) 10時～16時
会 場 1階ゲートプラザ
出 店 飲食店4店舗、雑貨店16店舗、ワークショップ7店舗
主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市文化振興事業協議会
入 場 者 数 2,900人

平成30年度丸亀市若手芸術家支援事業 まるがめ文化芸術祭2018特別事業

高畑彩佳 象牙の塔

日 時 2018年11月23日(金・祝)～30日(金)
会 場 2階造形スタジオ
出 品 者 高畑彩佳
主 催 丸亀市、丸亀市文化振興事業協議会、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
入 場 者 数 1,012人

MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.30

野菜をおいしく食べる市

日 時 2018年12月23日(日・祝) 11時～15時
会 場 1階ゲートプラザ
出 店 27店舗
主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市文化振興事業協議会
入 場 者 数 2,000人

MIMOCAゲートプラザ文化発信プロジェクト Vol.30

野菜をおいしく食べる市 ライブ

日 時 2018年12月23日(日・祝) 11時30分～15時
会 場 1階ゲートプラザ、2階ミュージアムホール
出 演 藤井学園中学校・高等学校(音楽部、軽音楽〔日本音楽〕部、響舞連)、優希亜、増田実裕、岩野未侑、Scott Chadwick、岩崎悠太、山口晃生
主 催 丸亀市、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団、丸亀市文化振興事業協議会
入 場 者 数 132人

III

教育普及事業

V 刊行物一覧

v-i 当館発行

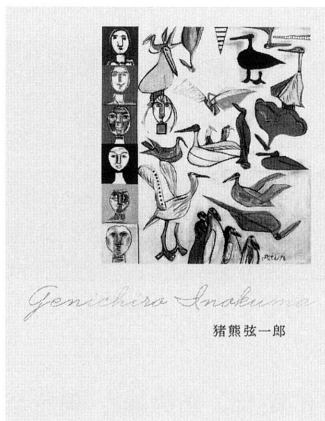
2018年3月



荒木経惟 私、写真。

- 内 容 ごあいさつ／作品図版／松村円「荒木経惟 死と生」／
荒木経惟略歴／作品リスト
- 編 集 松村円
- 協 力 pilgrim
- 仕 様 200×210mm 120ページ
- デザイン 大池翼
- 撮 影 高橋章
- 印 刷 平和写真印刷株式会社
- 発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術
振興財団
- 発行部数 700部
- 価 格 2,000円（税抜）

2018年6月

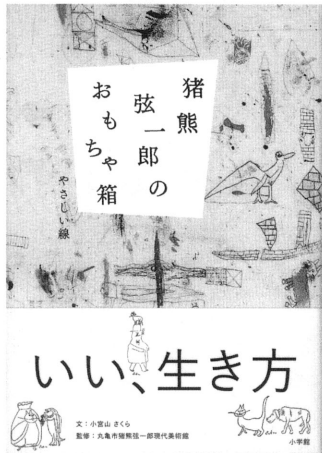


画集 猪熊弦一郎

- 内 容 香川章栄、(聞き手)古野華奈子、松村円「猪熊弦一郎
と作品と美 (インタビュー)」／作品図版／古野華奈子
「猪熊弦一郎の画業」／松村円「猪熊弦一郎の人となり」
／年譜／展覧会歴／文献一覧／作品リスト
- 編 集 松村円、古野華奈子、宇川亜澄、平山優子、吉澤博之
- 翻 訳 アムスタッツ コミュニケーションズ、有限会社フォン
テーヌ
- 仕 様 A4変形 176ページ
- デザイン 近藤一弥
- 印 刷 平和写真印刷株式会社
- 発 行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術
振興財団
- 発行部数 1,750部
- 価 格 2,000円（税抜）

v-ii その他関連刊行物

2018年2月



猪熊弦一郎のおもちゃ箱 やさしい線

- 内 容 猪熊さん／幼少期と青年期／パリ／戦争、戦後とパブリックアート／ニューヨーク／ハワイと日本／妻亡き後／画家のおもちゃ箱／荒井茂雄「教えない教え方をされた猪熊先生」／岡本仁「いのくまさんの絵は勇気をくれる」／あーちゃん「塗れない塗り絵」／坂本美雨「猪熊さんの猫」／年表／出典／作品タイトル・制作年／作品クレジット／所蔵先
- 文 章 小宮山さくら
- 編 集 中川ちひろ
- 監 修 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
- デザイン 大黒大悟、矢崎花（日本デザインセンター 大黒デザイン研究室）、常橋恵美
- 写 真 安彦幸枝、高橋章、大倉舜二
- 販 売 窪康男
- 制 作 松田雄一郎
- 宣 伝 井本一郎
- 仕 様 A5 256ページ
- 印 刷 凸版印刷株式会社
- 製 本 株式会社若林製本工場
- 発 行 小学館
- 価 格 2,700円（税抜）

志賀理江子 ブラインドデート 展覧会

①テキスト

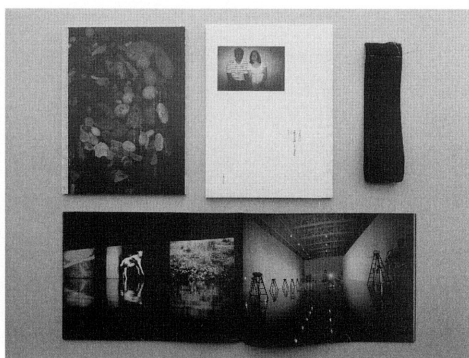
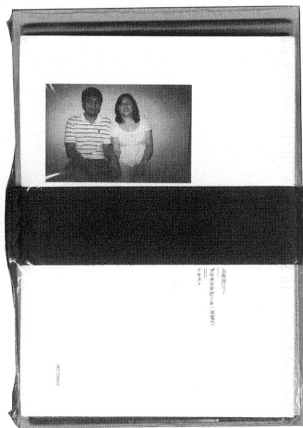
- 内 容 志賀理江子「ブラインドデート」「弔い」「亡霊」「現実」「歌」／国枝かつら「ブラインドデート イメージは別のところからやってくる」／作家略歴／作品リスト、展覧会フロアプラン
- 執 筆 志賀理江子、国枝かつら（丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団）
- 写 真 志賀理江子
- 編 集 清水チナツ、国枝かつら、松本知己（T&M Projects）
- 翻 訳 ミヤギフトシ、ベン・デイビス
- 英文校閲 アシュレイ・ローリングス
- デザイン 森大志郎
- 仕 様 245mm×178mm 96ページ

②リレートーク&ワークショップ

- 内容 Talk1『I【アイ】』について いがらしみきお×志賀理江子／Talk2『ルワンダ ジェノサイドから生まれて』について 竹内万里子×志賀理江子／Workshop 石拾い／Talk3『ビッグイシュー日本版』について 土田朋水×志賀理江子／Talk4『キミは珍獣(ケダモノ)と暮らせるか?』について 鮎屋法水×志賀理江子
- 著者 志賀理江子
- 編集 清水チナツ、国枝かつら、松本知己
- デザイン 森大志郎
- 仕様 238mm×175mm 104ページ

③インサイドアウト

- 内 容 展覧会風景やアウトテイク
- 著 者 志賀理江子
- 編集協力 国枝かつら
- デザイン 森大志郎
- 仕 様 182mm×258mm 96ページ
- 印 刷 株式会社大伸社
- 発 行 T&M Projects
- 価 格 3,980円（税抜）



III

教育普及事業

vi 美術図書室利用状況

2017年度

月	入室者	累計	日数	平均
2017年4月	166	166	30	6
5月	191	357	28	7
6月	468	825	21	22
7月	524	1,349	31	17
8月	985	2,334	31	32
9月	381	2,715	17	22
10月	136	2,851	31	4
11月	254	3,105	30	8
12月	102	3,207	12	9
2018年1月	322	3,529	31	10
2月	258	3,787	28	9
3月	396	4,183	25	16

315日 4,183人 (平均 13人)

2018年度

月	入室者	累計	日数	平均
2018年4月	92	92	17	5
5月	159	251	31	5
6月	196	447	30	7
7月	271	718	31	9
8月	455	1,173	31	15
9月	412	1,585	30	14
10月	203	1,788	31	7
11月	535	2,323	30	18
12月	148	2,471	24	6

255日 2,471人 (平均 10人)

III

教育普及事業

vii MIMOCA FRIEND (ミモカフレンド)

美術館で開催する展覧会、イベントなどの事業を通して、猪熊芸術及び国内外の現代美術に親しむことを目的として1995年4月に発足した。MIMOCA FRIEND (ミモカフレンド) という名称は猪熊が考案したものである。

2013年7月より、会員種目を個人、ペア、法人と新たに設定し、特典や年会費、会員期間も変更した(旧制度については年報2009-2010参照)。

会員特典

特典/会員証発行枚数	個人会員/1枚	ペア会員/2枚	法人会員/5枚
常設展の鑑賞無料(会員証提示)	○	○	○
企画展招待券(企画展毎)	2枚	4枚	10枚
美術館の情報お届け	○	○	○
ミュージアムショップの利用10%OFF	○	○	○
カフェレストMIMOCAの利用10%OFF ※	○	○	○
高松市美術館主催の展覧会観覧料2割引	○	○	○
企画展カタログの送付(企画展毎)	-	-	1冊
内覧会・レセプションへの招待	-	-	○
法人名を当館ホームページ等に記載	-	-	○

※2018年9月30日のカフェレストMIMOCA閉店までの特典。

会員期間

入会受付月から1年間

(ご入会日から翌年の同月末日まで)

年会費

個人会員 3,000円

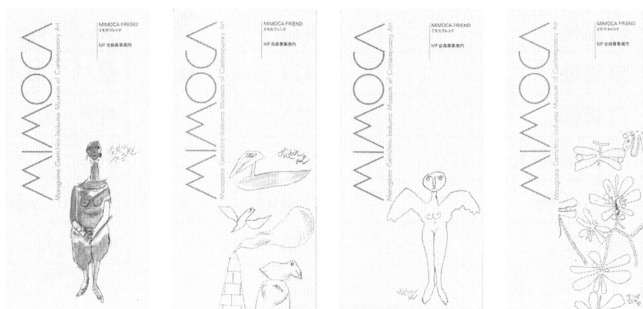
ペア会員 5,000円

法人会員 30,000円

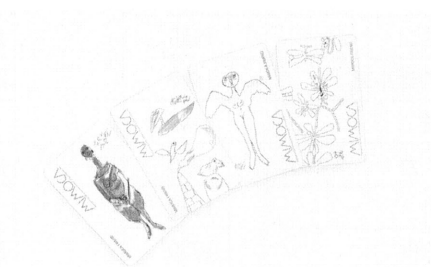
会員数

2017年度会員 個人216名、ペア15組30名、法人10社

2018年度会員 個人190名、ペア15組30名、法人8社



会員募集案内



会員証

IV 美術作品整理・管理

i 貸出し

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
題名不明	1911頃	猪熊弦一郎	鉛筆・紙	うらわ美術館	2017年 6月25日～ 9月3日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期：7月8日～8月27日 会場：うらわ美術館
題名不明	1911頃		インク・紙			
題名不明	1911頃		鉛筆・紙			
題名不明	1912頃		インク・紙			
題名不明	1912頃		鉛筆、水彩・紙			
題名不明	1912頃		インク・紙			
題名不明	1912頃		鉛筆、水彩・紙			
題名不明	1913頃		インク・紙			
題名不明	1913頃		インク・紙			
題名不明	1919		鉛筆、水彩・紙			
自画像	1921		油彩・カンヴァス			
自画像	1921		油彩・カンヴァス			
母の像	1924		油彩・カンヴァス			
自画像	1924		墨、パステル・紙			
自画像	1924		墨・紙			
自画像	1924		墨、パステル・紙			
自画像	1924		墨パステル・紙			
自画像	1925		油彩・カンヴァス			
着物の婦人	1930		油彩・カンヴァス			
題名不明	1933頃		インク・紙			
海と女	1935		油彩・カンヴァス			
サクラランボ	1939		油彩・カンヴァス			
S君の像	1939		油彩・カンヴァス			
妻と手袋	1939		油彩・カンヴァス			
白いリボン	1939		油彩・カンヴァス			
マドモアゼルM	1940		油彩・カンヴァス			
題名不明	1945		インク・紙			
黄色いスカートの婦人	1946		油彩・カンヴァス			
題名不明	1946		インク・紙			
二人の子供	1950		油彩・カンヴァス			
三越包装紙「華ひらく」型紙	1950	インク、水彩・紙				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
頭上猫	1952	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	うらわ美術館	2017年 6月25日～ 9月3日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期：7月8日～8月27日 会場：うらわ美術館
猫によせる歌	1952		油彩・カンヴァス			
からす	1953		油彩・カンヴァス			
猫達	1953		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954		インク・紙			
題名不明	1954		ミクストメディア			
題名不明	1954頃		油彩・カンヴァス			
HANIWA 1	1956		油彩・カンヴァス			
題名不明	1956		ミクストメディア			
題名不明	1960		ミクストメディア			
道	1964		油彩・カンヴァス			
桃色の地図	1966		アクリル・カンヴァス			
The City (Green No.1)	1968		アクリル・カンヴァス			
驚く可き風景 (A)	1969		アクリル・カンヴァス			
自画像	1970		インク・紙			
Landscape	1971		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1971頃		インク・紙			
風景	1972		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1976		アクリル、インク・紙			
スケッチブック「アリゾナとカチナドール」より1点	1979		墨・紙			
ニューヨーク九十五丁目の矢じるし	1979		アクリル・カンヴァス			
自由の住む都市	1980		アクリル・カンヴァス			
宇宙は機械の運動場No.1	1981		アクリル・カンヴァス			
安定する機械	1981		アクリル・紙			
スペース都市 C	1982		アクリル・カンヴァス			
構造と遊び	1982		アクリル・紙			
面白い仲間	1982		アクリル・紙			
星座からの返信	1983		アクリル・カンヴァス			
子供と発見	1984		アクリル・カンヴァス			
緑の太陽と煙	1984		アクリル・紙			
五月金曜日	1985		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
重力の遊び	1985	猪熊弦一郎	アクリル、鉛筆、 コラージュ・紙	うらわ美術館	2017年 6月25日～ 9月3日	「猪熊弦一郎展 いのくまさん」 会期：7月8日～8月27日 会場：うらわ美術館
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
明るい集落	1986		アクリル・カンヴァス			
Face 1 フミ Birthday	1986		アクリル・紙			
二つのふうせん	1986		アクリル・紙			
水平垂直	1986		アクリル・紙			
二人	1986		アクリル・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		鉛筆・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
不思議な飛行物体	1986		インク、アクリル・紙			
バードライフ	1986		アクリル、鉛筆、 コラージュ・紙			
金環食	1987		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1987		インク・紙			
題名不明	1987		インク・紙			
顔25	1988		インク・紙			
顔15	1989		アクリル・カンヴァス			
顔35	1989		アクリル・カンヴァス			
Faces 80	1989		アクリル・カンヴァス			
顔80	1989		アクリル・カンヴァス			
帰る 太陽のもとへ	1989		アクリル・紙			
題名不明	1989		鉛筆・紙			
題名不明	1989		パステル・紙			
題名不明	1990		インク、鉛筆・紙			
鳥達の隣人	1990		鉛筆・紙			
顔、犬、鳥、	1991		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1991		アクリル、インク、 コラージュ・紙			
題名不明	1991		鉛筆・紙			
題名不明	1991頃		パステル・紙			
顔青	1992		アクリル・カンヴァス			
顔バック緑	1992		アクリル・カンヴァス			
顔11 (K)	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		アクリル、インク・紙			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
題名不明	1992		鉛筆、コンテ・紙			

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
顔 ブルーの中	1992		アクリル・発砲スチロール			
題名不明	1992頃		パステル・紙			
題名不明	1993		アクリル 鉛筆・紙			
自画像	不詳		インク・紙			
自画像	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		水彩・紙			
題名不明	不詳		パステル・紙			
題名不明	不詳		ミクストメディア			
対話彫刻	-		ミクストメディア			
猪熊弦一郎のコレクション	-		-			
暑い日	1950	イサム・ノグチ	テラコッタ	大分県立美術館、香川県立ミュージアム、東京オペラシティ アートギャラリー、川崎市岡本太郎美術館	2017年 11月8日～ 2019年 1月20日	「20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチー彫刻 から身体・庭へー」 ①会期：11月17日 ～2018年1月21日 会場：大分県立美術館 ②会期：2018年4月7日 ～6月3日 会場：香川県立ミュージアム ③会期：2018年7月14日 ～9月24日 会場：東京オペラシティ アートギャラリー 「イサム・ノグチと岡 本太郎ー越境者たちの 日本ー」 会期：2018年10月6日 ～2019年1月14日 会場：川崎市岡本太郎 美術館
#061 少年航空隊用ベスト 桐生 2009	2012	石内都	タイプCプリント	横浜美術館	2017年 11月21日～ 2018年 3月16日	「石内都 肌理と写真」 会期：12月9日～ 2018年3月4日 会場：横浜美術館
ひろしま #092 広島 2011	2012		タイプCプリント			
ひろしま #096 松本ミヨ子 広島 2011	2012		タイプCプリント			
#10 併用緋銘仙 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#13 解し緋銘仙 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#14 解し緋銘仙 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#15 解し緋銘仙 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#34 工房横山 秩父 2011	2012		タイプCプリント			

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
#37 碓氷製糸 安中 2011	2012	石内都	タイプCプリント	横浜美術館	2017年 11月21日～ 2018年 3月16日	「石内都 肌理と写真」 会期：12月9日～ 2018年3月4日 会場：横浜美術館
#38 桐生が岡遊園地 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#41 併用緋銘仙 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#47 桐生が岡遊園地 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#57 解し緋銘仙 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#74 アンティークストッキング 上田 2011	2012		タイプCプリント			
#75 碓氷製糸 安中 2011	2012		タイプCプリント			
#76 碓氷製糸 安中 2011	2012		タイプCプリント			
#88 併用緋銘仙 桐生 2011	2012		タイプCプリント			
#102 渡良瀬川 2011	2012		タイプCプリント			
自画像	不詳	小磯良平	油彩・カンヴァス	新居浜市美術館	2017年 12月2日～ 2018年 1月25日	「-新居浜美術の新時代 と住友-小磯良平・オリ ゾン洋画研究所再考」 会期：12月9日～ 2018年1月21日 会場：新居浜市美術館
自画像	1924	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	Bunkamura ザ・ミュージアム	2018年 3月6日～ 5月12日	「猪熊弦一郎展 猫たち」 会期：2018年3月20日 ～4月18日 会場：Bunkamuraザ・ ミュージアム
題名不明（猫を抱く女）	1933		油彩・カンヴァス			
題名不明	1933頃		インク・紙			
題名不明	1939		インク・紙			
マドモアゼルM	1940		油彩・カンヴァス			
長江埠の子供達	1941		油彩・カンヴァス			
題名不明	1942		インク・紙			
題名不明	1944		インク・紙			
題名不明	1944		インク・紙			
題名不明	1945		インク・紙			
題名不明	1945		インク、水彩・紙			
題名不明	1946		インク・紙			
題名不明（室内の猫と文子）	1946 -50頃		油彩・カンヴァス			
青い服	1949		油彩・カンヴァス			
箱の中の小猫	1949		油彩・カンヴァス			
婦人と猫	1949		油彩・カンヴァス			
裸婦と猫	1949		油彩・カンヴァス			
妻と赤い服	1950		油彩・カンヴァス			
バレリーナの夢想	1950		油彩・カンヴァス			
二人の子供	1950		油彩・カンヴァス			

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
題名不明	1950	猪熊弦一郎	コンテ・紙	Bunkamura ザ・ミュージアム	2018年 3月6日～ 5月12日	「猪熊弦一郎展 猫たち」 会期：2018年3月20日 ～4月18日 会場：Bunkamuraザ・ ミュージアム
題名不明	1950		コンテ・紙			
猫と子供	1951		油彩・カンヴァス			
題名不明	1951		コンテ・紙			
猫と食卓	1952		油彩・カンヴァス			
猫によせる歌	1952		油彩・カンヴァス			
猫と住む人	1952		油彩・カンヴァス			
猫の家族	1952		油彩・カンヴァス			
頭上猫	1952		油彩・カンヴァス			
猫達	1953		油彩・カンヴァス			
題名不明	1953		水彩・紙			
題名不明	1954		油彩・カンヴァス			
自転車と娘	1954		水彩、クレパス・紙			
題名不明	1954		インク・紙			
題名不明	1954		版画、水彩・紙			
題名不明	1954頃		油彩・カンヴァス			
題名不明	1954頃		油彩・カンヴァス			
題名不明	1956		木、インク			
題名不明	1950代		版画・紙			
題名不明	1950代		版画・紙			
題名不明	1950代		版画・紙			
Landscape QR	1966		油彩、コンテ・ カンヴァス			
City Planning Yellow No.1	1968		アクリル・カンヴァス			
驚く可き風景 (A)	1969		アクリル・カンヴァス			
Landscape	1971		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1971		インク・紙			
Landscape Green A	1976		アクリル・カンヴァス			
ピンク角	1977		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1977		墨・紙			
題名不明	1977		墨・紙			
題名不明	1977		墨・紙			
題名不明	1978		水彩・紙			
夜を飛ぶ	1980		アクリル・カンヴァス			
発芽時代	1985	アクリル・カンヴァス				
丸亀の歌	1985	墨・紙				
題名不明	1985	インク、鉛筆・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	色鉛筆・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク・紙				
題名不明	1985	インク、鉛筆・紙				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
題名不明	1985	猪熊弦一郎	インク・紙	Bunkamura ザ・ミュージアム	2018年 3月6日～ 5月12日	「猪熊弦一郎展 猫たち」 会期：2018年3月20日 ～4月18日 会場：Bunkamuraザ・ ミュージアム
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク、鉛筆・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1985頃		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		鉛筆・紙			
題名不明	1986頃		インク・紙			
二つの門	1987		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1987		インク・紙			
題名不明	1987		インク・紙			
題名不明	1987		インク・紙			
題名不明	1987		インク・紙			
題名不明	1987		インク・紙			
題名不明	1987頃		墨・紙			
題名不明	1987頃		インク・紙			
題名不明	1987頃		インク・紙			
葬儀の日	1988		水彩・紙			
二人の裸婦と一つの顔	1989	アクリル・カンヴァス				
顔31	1989	アクリル・カンヴァス				
題名不明	1989	アクリル・紙				
楽しい家族	1989	アクリル・紙				
題名不明	1989	パステル・紙				
不思議なる会合	1990	アクリル・カンヴァス				
題名不明	1990	鉛筆・紙				
猫の歌	1990	鉛筆、アクリル・紙				
題名不明	1990	鉛筆、アクリル・紙				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
顔2 猫2 鳥8	1991	猪熊弦一郎	アクリル・カンヴァス	Bunkamura ザ・ミュージアム	2018年 3月6日～ 5月12日	「猪熊弦一郎展 猫たち」 会期：2018年3月20日 ～4月18日 会場：Bunkamuraザ・ ミュージアム
顔・猫	1991		アクリル、コラージュ・カンヴァス			
鳥、犬、顔、隣人	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
題名不明	1992		アクリル、インク、鉛筆・紙			
飛ぶ日のよろこび	1993		アクリル・カンヴァス			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク、水彩・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		コンテ・紙			
題名不明	不詳		コンテ・紙			
題名不明	不詳	コンテ・紙				
題名不明	不詳	水彩・紙				
題名不明	不詳	水彩、鉛筆・紙				
題名不明	不詳	墨・紙				
題名不明	不詳	墨・紙				
題名不明	不詳	パステル・紙				
題名不明	不詳	パステル・紙				
題名不明	不詳	パステル・紙				
題名不明	不詳	パステル・紙				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2017年度（平成29年度）						
題名不明	不詳	猪熊弦一郎	版画・紙	Bunkamura ザ・ミュージアム	2018年 3月6日～ 5月12日	「猪熊弦一郎展 猫たち」 会期：2018年3月20日 ～4月18日 会場：Bunkamuraザ・ ミュージアム
題名不明	不詳		版画・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		鉛筆・紙			
題名不明	不詳		水彩・紙			
題名不明	不詳		水彩・紙			
題名不明	不詳		水彩・紙			
題名不明	不詳		水彩・紙			
題名不明	不詳		インク、鉛筆・紙			
題名不明	不詳		粘土、絵具			
猪熊弦一郎のコレクション	-		-			
2018年度（平成30年度）						
題名不明	1938	猪熊弦一郎	インク・紙	ひろしま美 術館	2018年 4月15日～ 6月30日	「ねこがいっぱいねこ アート展」 会期：4月21日 ～6月24日 会場：ひろしま美術館
題名不明	1938		インク・紙			
題名不明	1938		インク・紙			
題名不明	1938		インク・紙			
『猫のいる日々』大佛次郎著 表紙原画	1978		インク、水彩、 鉛筆・紙			
題名不明	1945		インク・紙			
題名不明	1946		インク・紙			
題名不明	不詳		版画・紙			
題名不明	1950		水彩、インク・紙			
『美術手帖1950年4月号』	-	猪熊 弦一郎 装丁	雑誌			
『猫のいる日々』大佛次郎著	-		書籍			
自画像	1921	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	馬の博物館	2018年 9月17日～ 12月15日	「猪熊弦一郎展 馬と女 性たち」 会期：10月6日～ 12月2日 会場：馬の博物館
裸婦像	1925		油彩・カンヴァス			
婦人像	1926		油彩・カンヴァス			
青衣	1930		油彩・カンヴァス			
パレットを持つ女	1931		油彩・カンヴァス			
馬と少女	1935		油彩・カンヴァス			
海と女	1935		油彩・カンヴァス			
夜	1937		油彩・カンヴァス			
アンブレラの女	1938		油彩・カンヴァス			
サクランボ	1939		油彩・カンヴァス			
浴女	1940		油彩・カンヴァス			
馬と女性	1940		油彩・カンヴァス			
マドモアゼルM	1940		油彩・カンヴァス			
黄色いスカートの婦人	1946		油彩・カンヴァス			

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2018年度（平成30年度）						
青い服	1949	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	馬の博物館	2018年 9月17日～ 12月15日	「猪熊弦一郎展 馬と女性たち」 会期：10月6日～ 12月2日 会場：馬の博物館
「デモクラシー」慶應義塾大学 学生ホール (現 西校舎学生食堂) 壁画 原画	1949		水彩、鉛筆・紙			
妻と赤い服	1950		油彩・カンヴァス			
バレリーナの夢想	1950		油彩・カンヴァス			
馬と道化	1955		油彩・カンヴァス			
題名不明	1985		アクリル・紙			
題名不明	1985		アクリル・紙			
題名不明	1985		アクリル・紙			
新馬	1986		アクリル・紙			
題名不明	1986		アクリル、コラー ージュ・カンヴァス			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
馬と裸婦	1986		アクリル・紙			
ピンクの馬	1986		アクリル・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986		インク・紙			
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
題名不明	1986	インク・紙				
裸子と馬	1987	磁器				
道産子	1987頃	インク・紙				

作品名	制作年	作者	技法・材質	貸出先	貸出期間	展覧会名等
2018年度（平成30年度）						
題名不明	1988	猪熊弦一郎	インク、アクリル、鉛筆、コラージュ・紙	馬の博物館	2018年 9月17日～ 12月15日	「猪熊弦一郎展 馬と女性たち」 会期：10月6日 ～12月2日 会場：馬の博物館
顔80	1989		アクリル・カンヴァス			
二人の裸婦と一つの顔	1989		アクリル・カンヴァス			
二つのヴィーナス	1989		アクリル・カンヴァス			
二人のヴィーナス	1989		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1989		アクリル・紙			
三匹の馬	1990		アクリル、鉛筆・紙			
二匹の馬	1990		アクリル・紙			
黒い裸子と馬	1991		アクリル・カンヴァス			
黒い馬3	1991		アクリル・カンヴァス			
横臥裸子と鳥達	1991		アクリル・カンヴァス			
裸子1 鳥11 馬2	1991		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1991		アクリル・紙			
題名不明	1991		インク・紙			
題名不明	1991		アクリル・紙			
題名不明	1991		鉛筆・紙			
裸子3 顔24 馬8	1992		アクリル・カンヴァス			
題名不明	1992		アクリル・紙			
題名不明	1992		鉛筆・紙			
題名不明	1992		インク・紙			
題名不明	1993		インク、アクリル・紙			
七月の馬『小説新潮』 表紙絵原画	1966年 7月号掲載		水彩・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳		インク・紙			
題名不明	不詳	インク・紙				
題名不明	不詳	インク・紙				
1986年に描かれたスケッチブック3冊	1986					
対話彫刻	-		ミクストメディア			
猪熊弦一郎のコレクション	-	-	-			
妻と手袋	1939	猪熊弦一郎	油彩・カンヴァス	碧南市藤井 達吉現代美 術館 富山県水墨 美術館	2018年 10月17日～ 2019年 2月20日	「愉しきかな！人生一 老当益壯の画人たち」 ①会期：10月30日 ～12月16日 会場：碧南市藤井達吉 現代美術館 ②会期：2019年1月11日 ～2月17日 会場：富山県水墨美術館
猫の家族	1952		油彩・カンヴァス			
City Planning Yellow No.1	1968		アクリル・カンヴァス			
夜を飛ぶ	1980		アクリル・カンヴァス			
飛ぶ日のよろこび	1993		アクリル・カンヴァス			
猪熊弦一郎のコレクション より1点(イームズ夫妻 よりイサム・ノグチを通 じて猪熊に贈られたイ ームズチェア)	-	-	-	ギャラリー エークウッド	2019年 3月5日～ 6月5日	「イームズハウス：よ り良い暮らしを実現す るデザイン」 会期：3月19日 ～5月30日 会場：ギャラリーエ ークウッド

V

その他事業

i ミュージアムショップ

ミュージアムショップは1階エントランスホールに設けられている。商品は全てオリジナルであり、当初猪熊自らグッズ製作に携わった。猪熊の「街では売ってないもの、美術館だからあるもの」を提供するという姿勢を受け継ぎ、作品をもとにした商品を新しく開発している。

※全て税抜価格

■卓上カレンダー

年によりテーマを決めて、猪熊作品を各月の図版に選び好評を得ている。当館所蔵品から12点の作品を掲載した。

2018年卓上カレンダー

価格 1,200円

サイズ 19.2×10.5cm 上部リング止め

テーマ 1981年のスケッチブックを中心とした作品



2018年卓上カレンダー

■蕎麦猪口

2017年度に、猪熊によるスケッチを題材とした3種の蕎麦猪口を製作した。

猪熊猪口（すわり猫）、（頭上猫）、（魚たち）

価格 2,500円

サイズ 口径8.4cm 高さ7.2cm 重さ190g

素材 白土、指定釉、還元焼成

デザイン 菊地敦己

製造 株式会社セラミック・ジャパン

使用作品 すわり猫：《題名不明》1986年

頭上猫：《題名不明》1987年頃

魚たち：《題名不明》制作年不明



猪熊猪口 すわり猫、頭上猫、魚たち

■Tシャツ

2014年から発売している、猪熊によるスケッチを題材としたTシャツ。2017年度に新たに2種を製作した。

いのくまTシャツ (仰向きの馬)、(ジグザグふたつ)

価格 3,000円

サイズ M・L レディースM・L

素材 ホワイト・イエロー：綿100%

空グレー：綿80%、ポリエステル20%

色 仰向きの馬：イエロー（限定色）、ホワイト、空グレー

ジグザグふたつ：ブルー（限定色）、ブラック

デザイン 菊地敦己

使用作品 仰向きの馬：《題名不明》制作年不明

ジグザグふたつ：《題名不明》1991年



いのくまTシャツ 仰向きの馬



いのくまTシャツ ジグザグふたつ

■うちわ

美術館のある丸亀市の伝統工芸品「丸亀うちわ」を発売した。各うちわの仕上げは市内在住の伝統工芸士による。

2017年度

いのくまさんの丸亀うちわ（とり）

価格 1,200円

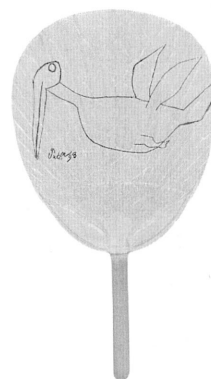
サイズ 高さ29cm 幅16cm

素材・仕様 和紙、竹 渋塗り

デザイン 菊地敦己

製作 三谷順子

使用作品 《題名不明》1993年



いのくまさんの丸亀うちわ とり

2018年度

うちわ 小（向き合う馬）、（馬に乗る人）

価格 1,500円

サイズ 高さ27.5cm 幅18.5cm

素材 和紙、竹

デザイン 佐竹祐志

製作 三谷順子

使用作品 向き合う馬：《題名不明》1987年

馬に乗る人：《題名不明》1987年



うちわ 小 向き合う馬

うちわ いのくまさんのらくがき

価格 2,500円

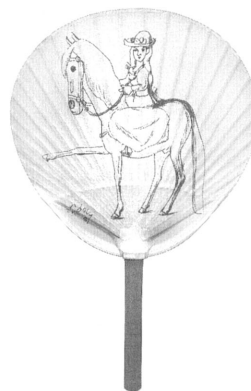
サイズ 高さ38cm 幅24.5cm

素材 和紙、竹

デザイン 佐竹祐志

製作 三谷順子

使用図版 猪熊が使用していたデスクマットより
(作品ではない)



うちわ 小 馬に乗る人



うちわ いのくまさんのらくがき

■缶バッジ

猪熊のスケッチを題材とし、サイズ・形状さまざまな缶バッジを製作。2018年度に発売した。

缶バッジ 大 (金魚鉢の中の猫と魚)、(猫2・魚2)、
(横たわる猫)、(天使と馬)、(猫と犬)

価格 300円

サイズ 直径4.4cm

使用作品 金魚鉢の中の猫と魚：《題名不明》1955年
猫2・魚2：《題名不明》1955年
横たわる猫：《題名不明》1955年
天使と馬：《題名不明》1986年
猫と犬：《題名不明》1955年



金魚鉢の中の猫と魚



猫2・魚2



横たわる猫



天使と馬



猫と犬

缶バッジ 中 (ドレスを着た人と猫)、(大きい猫と
小さい猫)、(紳士と猫)

価格 250円

サイズ 直径3.8cm

使用作品 ドレスを着た人と猫：《題名不明》1955年
大きい猫と小さい猫：《題名不明》1955年
紳士と猫：《題名不明》1955年



ドレスを着た人と猫



大きい猫と小さい猫



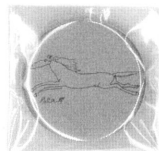
紳士と猫

缶バッジ 小 (走る馬)、(四角い目の鳥)、
(魚をくわえた鳥)

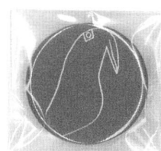
価格 200円

サイズ 直径3.2cm

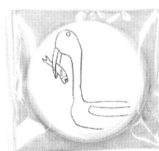
使用作品 走る馬：《題名不明》1987年
四角い目の鳥：《題名不明》制作年不明
魚をくわえた鳥：《題名不明》制作年不明



走る馬



四角い目の鳥



魚をくわえた鳥

缶バッジ 四角 (ギザギザ猫)、(猫と2匹の魚)

価格 300円

サイズ 縦4cm 横4cm

使用作品 ギザギザ猫：《題名不明》1985年
猫と2匹の魚：《題名不明》1985年



ギザギザ猫



猫と2匹の魚

■ポストカード

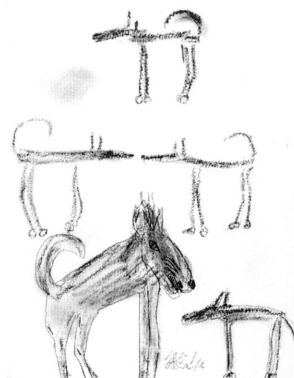
主に猪熊の紙作品を題材としてポストカードを製作した。「青い五匹の犬」と「うらじろ」は、年始の数日間の来館者に年賀状として配布した。

2017年度ポストカード

青い五匹の犬

使用作品 《青い五匹の犬》1992年

価格 100円



2017年度ポストカード 青い五匹の犬

アイロン掛けと猫

使用作品 《題名不明》制作年不明

価格 100円



2017年度ポストカード アイロン掛けと猫

猫 椅子の上

使用作品 《題名不明》1986年

価格 100円



2017年度ポストカード 猫 椅子の上

2018年度ポストカード

うらじろ

使用作品 《うらじろ》『小説新潮』1959年1月号表紙絵

価格 100円



2017年度ポストカード 猫49青



2018年度ポストカード うらじろ

V

その他事業

ii

カフェ

カフェレストMIMOCAは、2006年3月まで財団法人ミモカ美術振興財団の直営であったが、2006年4月より株式会社ブルーマークに、2011年4月より株式会社菊地敦己事務所に営業委託することとなった。1998年から始まった展覧会ごとの特別メニューをはじめ、来館者に長い間ご愛顧いただいていたが、美術館の改修工事に伴い2018年9月末に委託を終了した。

2017年度

「志賀理江子 プラインドデート」

■モノクロ

ジャスミンティーのブラマンジェとコーヒーゼリーの二層仕立ての冷たいスイーツ

「荒木経惟 私、写真。」

■私、プリン。

数種類のベリーをのせたプリン



撮影：藤田一浩



VI

入館者状況

2017年度（2017年4月1日～2018年3月31日）

展覧会事業

会 期	展 覧 会 名	日数(日)	入場者数 (人)	平均 (人/日)
2017年4月1日～5月28日	開館25周年記念 MIMOCAコレクション じつはいろいろあるんです！	58	4,673	81
2017年6月10日～9月3日	志賀理江子 ブラインドデート	86	9,683	113
2017年9月16日～11月30日	猪熊弦一郎展 戦時下の画業	75	9,473	126
2017年12月17日～2018年3月25日	荒木経惟 私、写真。	92	10,347	112
企画展計		311	34,176	110
2017年4月1日～5月28日	常設展 猪熊弦一郎展 じつにいろいろ描きました	58	5,365	93
2017年6月10日～9月3日	常設展 猪熊弦一郎展 ふしぎな形	86	11,519	134
2017年9月16日～12月3日	常設展 猪熊弦一郎展 ニューヨークへ 1955-	78	10,545	135
2017年12月17日～2018年3月25日	常設展 猪熊弦一郎展 人物像	92	11,471	125
常設展計		314	38,900	124
	計		73,076	

教育普及事業

	プログラム数(回)	日数(日)	利用者数 (人)	平均 (人/日)
ワークショップ	13	28	4,222	151
ワークショップ(展示)	7		9,764	
学校団体での来館	176		6,129	
博物館実習	1	6	2	
職場体験	1	2	5	
ミモカキッズパスポート			1,128	
丸亀どこでもMIMOCA	19	19	422	22
ミモカシニアパスポート			363	
イベント	15	45	13,271	295
美術図書室		315	4,183	13
展覧会関連プログラム ※1	16	139	3,918	28
計	248	554	43,407	

※1 展覧会関連プログラムには、キュレーターズ・トーク、講演会等が含まれる。

2018年度（2018年4月1日～2019年3月31日）

展覧会事業

会 期	展 覧 会 名	日数(日)	入場者数 (人)	平均 (人/日)
2018年4月14日～7月1日	荒井茂雄展 人生の詩	79	5,312	67
2018年7月14日～9月30日	猪熊弦一郎展 風景、顔	79	10,414	132
企画展計		158	15,726	100
2018年4月14日～7月1日	常設展 猪熊弦一郎のおもちゃ箱	79	6,987	88
2018年7月14日～9月30日	常設展 美術館は心の病院 猪熊弦一郎とMIMOCA	79	11,637	147
常設展計		158	18,624	118
計			34,350	

教育普及事業

	プログラム数(回)	日数(日)	利用者数 (人)	平均 (人/日)
ワークショップ	16	30	3,819	127
学校団体での来館	92		2,794	
職場体験	4	8	16	
ミモカキッズパスポート			1,292	
丸亀どこでもMIMOCA	55	55	1,850	34
丸亀ここがMIMOCA ※2			11,337	
いのくまさんの日			1,727	
ミモカシニアパスポート			298	
イベント	10	17	13,656	803
美術図書室		255	2,471	10
展覧会関連プログラム ※3	8	92	747	8
計	185	457	40,007	

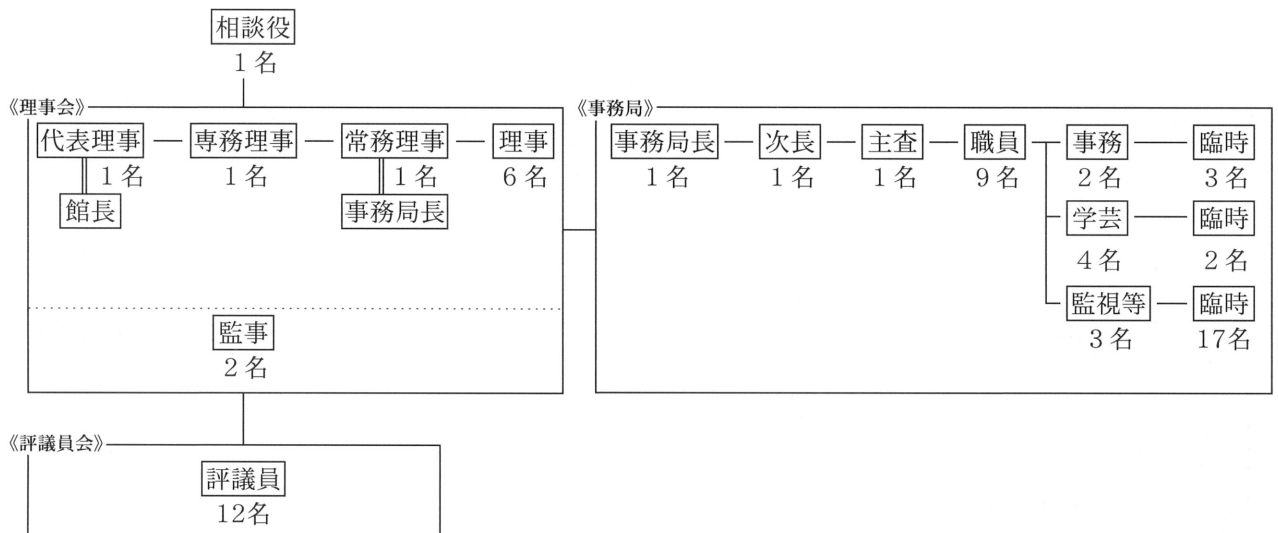
※2「丸亀ここがMIMOCA」のプログラムのうち、キッズデイの利用者数は「ワークショップ」の欄に、キュレーターズ・トークの利用者数は「展覧会関連プログラム」の欄に計上した。

※3「展覧会関連プログラム」には、キュレーターズ・トーク、講演会等が含まれる。

VII

組 織 図

2017年度（平成29年度）



相 談 役 荒井 茂雄 新制作协会会员

代表理事 中野レイ子 学識経験者（館長）

専務理事 矢野 浩三 丸亀市産業文化部部长

常務理事 宮武 正治 学識経験者（事務局長）

理 事 島川 修治 学識経験者

塩田 等 学識経験者

中野百合子 学識経験者

監 事 後藤 修 学識経験者

秋山 文枝 学識経験者

正木 勝未 学識経験者

川田 良文 丸亀市教育部長

篠原 隆 丸亀市会計管理者

評 議 員 香川 宏 学識経験者 評議員会会長

羽場 一喜 学識経験者

長尾 彩子 学識経験者

池田 清史 学識経験者

杉尾 英美 学識経験者

川松美智子 学識経験者

山崎 洋子 学識経験者

杉本 展子 学識経験者

亀井 敬子 学識経験者

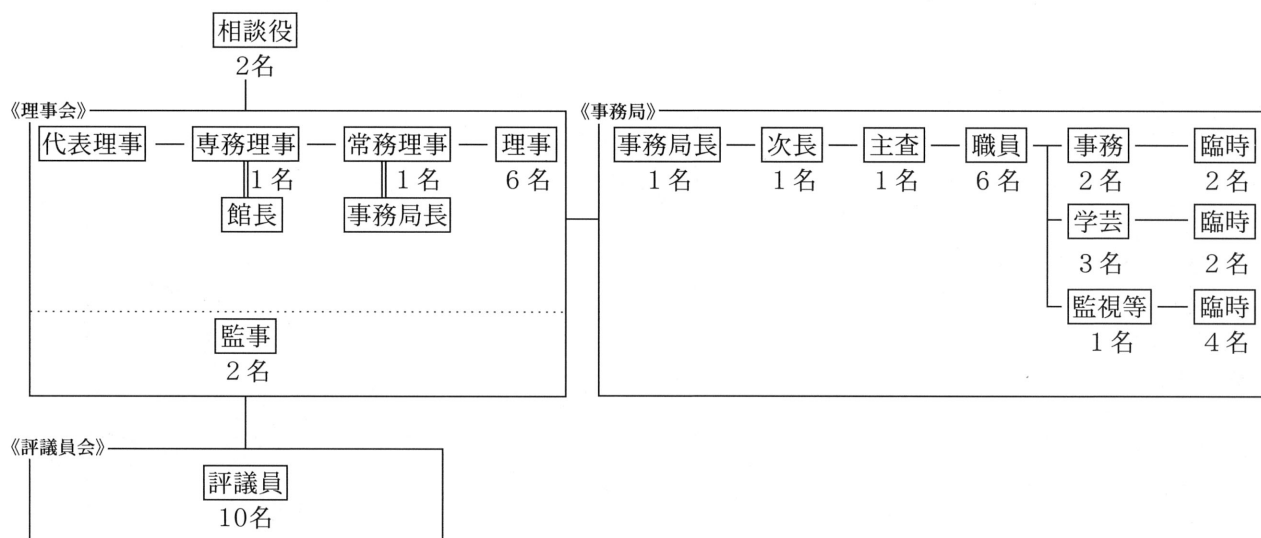
妻鳥 健 学識経験者

山田 明子 学識経験者

岸本 圭一 丸亀市文化観光課課長

[2018年3月31日現在]

2018年度（平成30年度）



相 談 役 荒井 茂雄 新制作協会会員
長原 孝弘 元副館長

代表理事 中野レイ子 学識経験者

専務理事 矢野 浩三 丸亀市産業文化部部长（館長）

常務理事 宮武 正治 学識経験者（事務局長）

理 事 島川 修治 学識経験者
塩田 等 学識経験者
中野百合子 学識経験者

秋山 文枝 学識経験者
正木 勝未 学識経験者
川田 良文 丸亀市教育部長

監 事 後藤 修 学識経験者

篠原 隆 丸亀市会計管理者

評 議 員 杉尾 英美 学識経験者 評議員会会長
羽場 一喜 学識経験者
妻鳥 健 学識経験者
阪本 麻郁 学識経験者
直井 工 学識経験者

西谷 清美 学識経験者
平田 貴久 学識経験者
山崎 純一 学識経験者
山田 哲也 学識経験者
岸本 圭一 丸亀市文化課課長

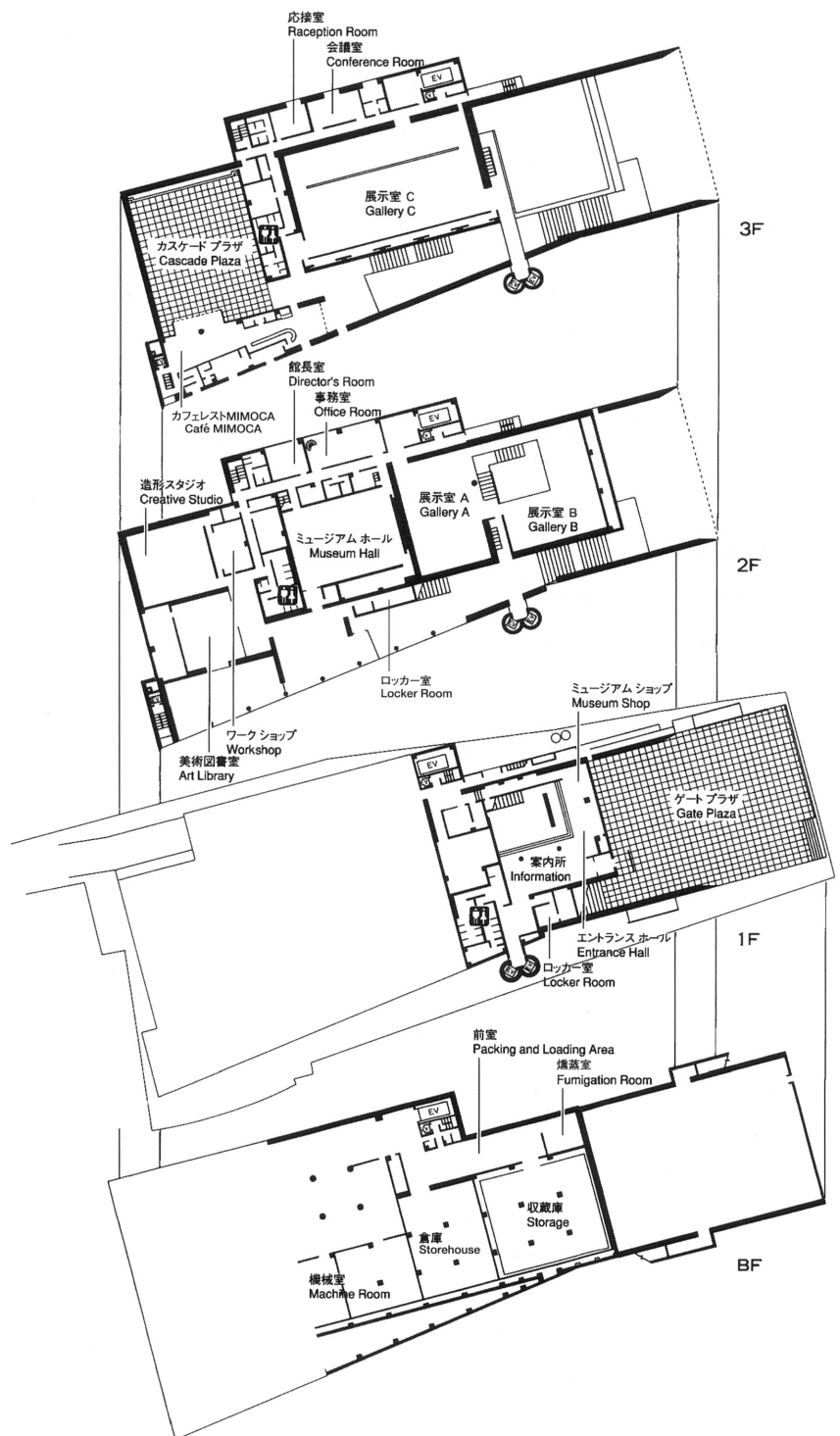
[2019年3月31日現在]

VIII

施設概要

所在地 丸亀市浜町80番地 1
 敷地面積 5,974.53㎡
 規模構造 鉄骨鉄筋コンクリート構造
 地下1階、地上3階
 最高高さ 20m
 建築面積 3,564.80㎡
 延床面積 11,948.14㎡
 仕上外壁 アルミ押出型材-Y(スパンドレル)
 石(パーリントンスレート)
 コンクリート打放し
 仕上内装 床：大理石、花崗岩、フローリングタイ
 ル、ライムストーン、カーペットタイル、ゴム
 タイル、塩ビシート
 壁：クロスステックス(展示室)ナブコホワ
 イト、ビニールクロス、布クロス
 天井：岩綿吸音ボード AEP、ボード塗
 装、アルミパネル
 設計 谷口建築設計研究所
 監理 丸亀市建築課
 谷口建築設計研究所
 施工 建築工事 (株)鹿島建設
 電気設備工事 (株)栗原工業
 機械設備工事 (株)川崎設備工業
 工期 平成元年11月21日着工
 平成3年6月20日竣工

3階 ● 展示室 C	642.74㎡
Gallery C	
カスケードプラザ	532.40㎡
Cascade Plaza	
カフェレスト MIMOCA	236.67㎡
Café MIMOCA	
会議室	
Conference Room	
2階 ● 展示室 A	285.66㎡
Gallery A	
展示室 B	286.96㎡
Gallery B	
ミュージアムホール	297.05㎡
Museum Hall	
170席(舞台照明・音響・映像設備完備)	
造形スタジオ	202.15㎡
Creative Studio	
ワークショップ	60.00㎡
Room for Workshop	
美術図書室	195.20㎡
Art Library	
ロッカー室	
Locker Room	
1階 ● 案内所	
Information	
ミュージアムショップ	
Museum Shop	
ロッカー室	
Locker Room	
B F ● 収蔵庫	373.64㎡
Storage	



IX

利用案内

- 開館時間 10時～18時（入館は17時30分まで）
- 休館日 年末12月25日～31日、および展示替え等による臨時休館日
改修工事に伴う長期休館 2019年1月1日～2020年3月31日
- 観覧料 企画展：その都度料金設定
常設展：一般 300円（団体240円）
 大学生 200円（団体160円）
無料：高校生以下または18歳未満、丸亀市内に在住の65歳以上、各種障害者手帳をお持ちの方
割引：20名以上の団体 2割引
- 交通案内
- 鉄道（JR）
JR丸亀駅より徒歩1分
東京駅 - （新幹線で約3時間20分） - 岡山駅 - （松山または高知方面行特急で約40分） - 丸亀駅
博多駅 - （新幹線で約1時間40分） - 岡山駅 - （松山または高知方面行特急で約40分） - 丸亀駅
高松駅 - （予讃線快速で約30分） - 丸亀駅
- 飛行機
高松空港より、タクシー約40分／乗合タクシー約50分／リムジンバス約75分）
岡山空港より、リムジンバス約30分 - 岡山駅 - （松山または高知方面行特急で約40分） - 丸亀駅
- 高速バス
東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・福岡より丸亀駅まで直通運行
- 車
本州方面から
（瀬戸大橋経由）瀬戸中央自動車道 坂出北ICより約15分
（神戸淡路鳴門自動車道経由）高松自動車道 坂出ICより約15分
四国内の高速道路から
高松自動車道 坂出IC・善通寺ICより約15分
- 駐車場◆JR丸亀駅前地下駐車場（2時間無料）

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館年報 2017-2018

令和2年3月 印刷

令和2年3月 発行

編集・発行 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
香川県丸亀市浜町80-1 TEL(0877)24-7755

印刷 株式会社 日柳印刷所
香川県丸亀市南条町46番地 TEL(0877)22-5194

